シスメックス株式会社
会社案内

Together for a better
healthcare journey

Disclaimer

・本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

・本資料に記載されている製品等の情報は、薬事認可取得の有無に関わらず宣伝広告および医学的アドバイスを目的としているものではありません。

・当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

・一部平易な表現で記載しています。

Index

1　会社概要

2　成長戦略における取り組み

3　サステナビリティトピックス

（補足資料）

1 会社概要

会社概要

■ 本社	神戸市中央区
■ 設立	1968年（昭和43年）2月20日
■ 資本金	14,887 百万円
■ 連結売上高	508,643 百万円
■ 関係会社数	79社（国内：12社、海外：67社） ※持分法適用の関連会社2社除く
■ 従業員数	11,457名 ※嘱託・パートタイマーなどを含む
■ 事業内容	臨床検査（血液・尿などの検査）機器、検査用試薬、 ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
■ 社名の由来	**SYS**tematical **ME**dics ＋ **X**

（2025年3月末時点）



シスメックステクノパーク（神戸）

企業理念

Sysmex Way

Mission
ヘルスケアの進化をデザインする。

Value
私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、
人々への安心を追求し続けます。

Mind
私たちは、情熱としなやかさをもって、
自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

Shared Values

お客様に対して
常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。
常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

従業員に対して
多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。
自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

取引先に対して
公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。
相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

株主様に対して
経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様に安心を届けます。
堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

社会に対して
法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に安心を届けます。
環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

安心（*anshin*）は、シスメックスの企業理念の根幹にある言葉であり、当社が創業以来追求してきた本質的な価値として、以下のような意味を持ちます。

- お客様が使用する当社の製品やサービスについて、安全性、品質等に不安がない状態
- ステークホルダーが、当社との関係、取引、対話等において信用・信頼でき不安がない状態
- 人々が、自分自身の健康、生活などに不安がなく、心が落ち着いている状態

シスメックスのあゆみ

1995年度～
株式上場からの成長性

海外関係会社
6社（1995年度）→ 11倍 67社（2024年度）

製品輸出国
90カ国（1995年度）→ 約2倍 190以上の国・地域（2024年度）

2025年3月期売上高
5,086億円
（海外売上比率：86.7%）


国内初の自動血球計数装置の実用化（1963年）


世界初、ヘマトロジー搬送システム販売開始（1990年）

シスメックスの取り組み

- 創立1968年
- ・事業基盤構築
  ・国内ヘマトロジートップシェアへ
- ・欧州直販化の推進
  ・ネットワークサービス開始（SNCS）
- 大証上場1995年
- ヘマトロジーグローバルシェアNo.1 2006年
- ・北米ヘマトロジーシェア拡大
  ・中国市場拡大
- ・新興国売上拡大
  ・個別化医療への貢献への取り組み
  ・手術支援ロボットシステム販売開始

（億円）
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
国内売上高
海外売上高
1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2024

時代背景と検査ニーズ

医療需要の高まりによる検査の普及促進 → 医療費高騰による効率化ニーズの拡大 → ITの進展 世界の地域格差解消 → 医療の高度化・多様化

主な事業領域

問診 → 診断・治療・モニタリング → 完治

メディカルロボット事業

臨床検査

検体検査(血液や尿などを採って調べる検査)

ダイアグノスティクス事業

- 血球計数検査（ヘマトロジー）
- 尿検査
- 血液凝固検査
- 免疫検査
- 生化学検査
- 遺伝子検査



生体検査(身体を直接調べる検査)

- 画像診断
- 心電図測定
- 呼吸機能検査
- 脳波検査
- 超音波検査

検査は、診断の支援、治療・投薬の効果測定に不可欠です

事業内容

採血・採尿 → 検査 → 診断 → 治療・モニタリング

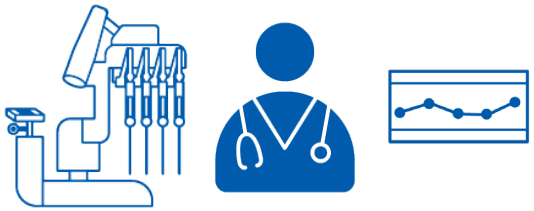


検査・健康診断など



病院の検査室　検査センター
(検査を専門に扱う施設)





Sysmex

ダイアグノスティクス事業

検査機器



専用試薬



ソフトウェア



サービス＆サポート



検査に必要な機器、試薬、ソフトウェアの開発および
製造･販売、サービス＆サポートを実施（グローバル）

メディカルロボット事業

手術支援ロボット

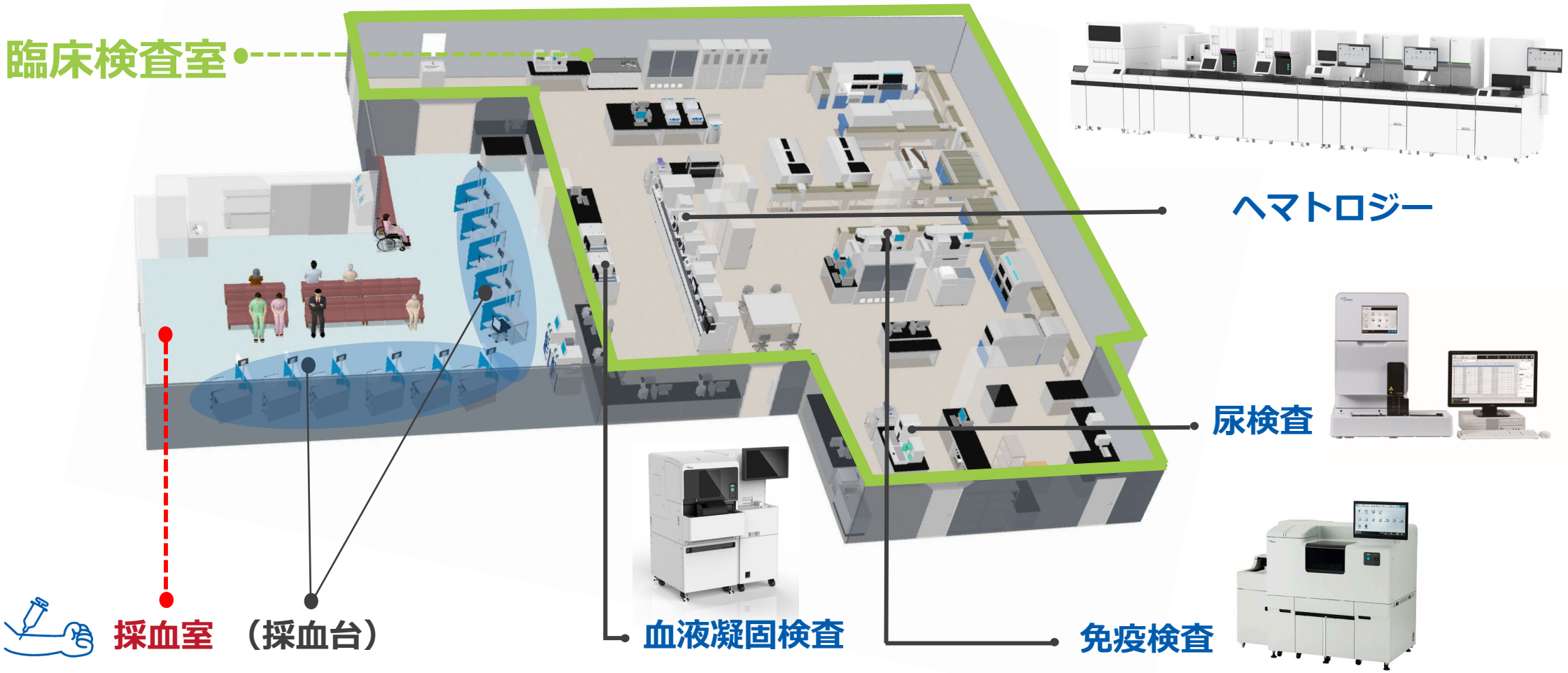


販売・サービスを実施
（国内・アジアパシフィック）

「検体検査」と「治療」領域により皆さまの健康を支えている会社です

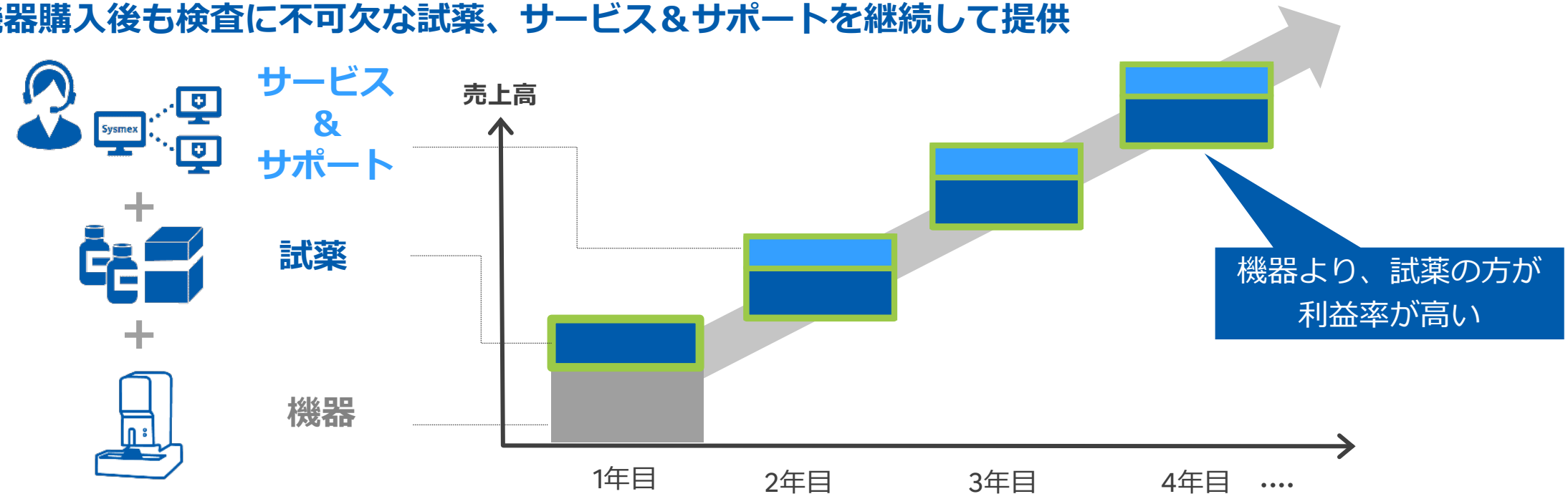
シスメックス製品が活躍している場所（イメージ）

検査技師の方が各種装置を使用し、血液などを測定

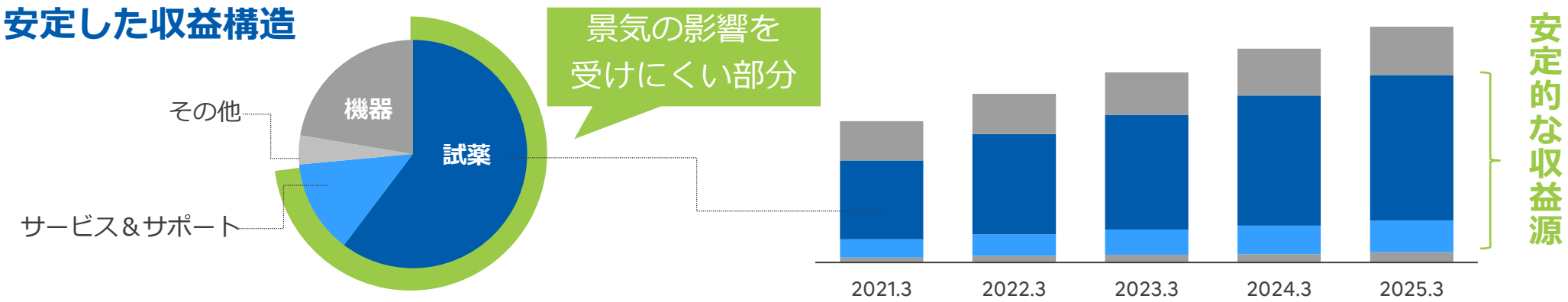


ダイアグノスティクス事業のビジネスモデル

■機器購入後も検査に不可欠な試薬、サービス＆サポートを継続して提供



■安定した収益構造



独自の研究開発力

既存技術の拡充と進化

技術プラットフォーム



細胞測定技術　タンパク測定技術　遺伝子測定技術

基本技術



機構・光学・流体　原材料・試薬開発　IT・ソフトウェア

研究開発拠点

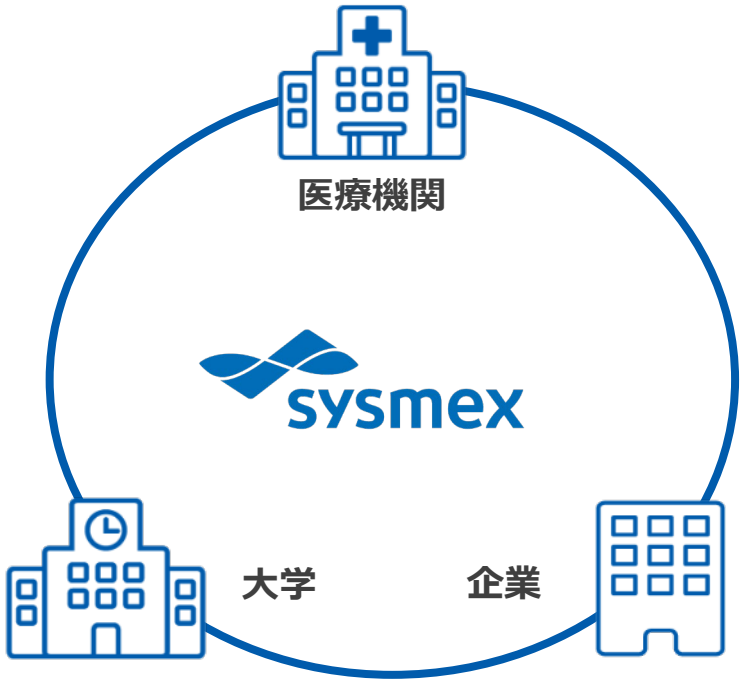
9カ国25拠点

- 日本
- 米国
- 英国
- ドイツ
- 中国
- シンガポール

など

×

外部機関との協業



世界中の人々のQOLや医療経済的価値の向上に繋がる

独創的な検査・診断技術を創出

グローバルネットワーク体制

販売・サービス拠点
45カ国63拠点

試薬生産拠点
10カ国14拠点

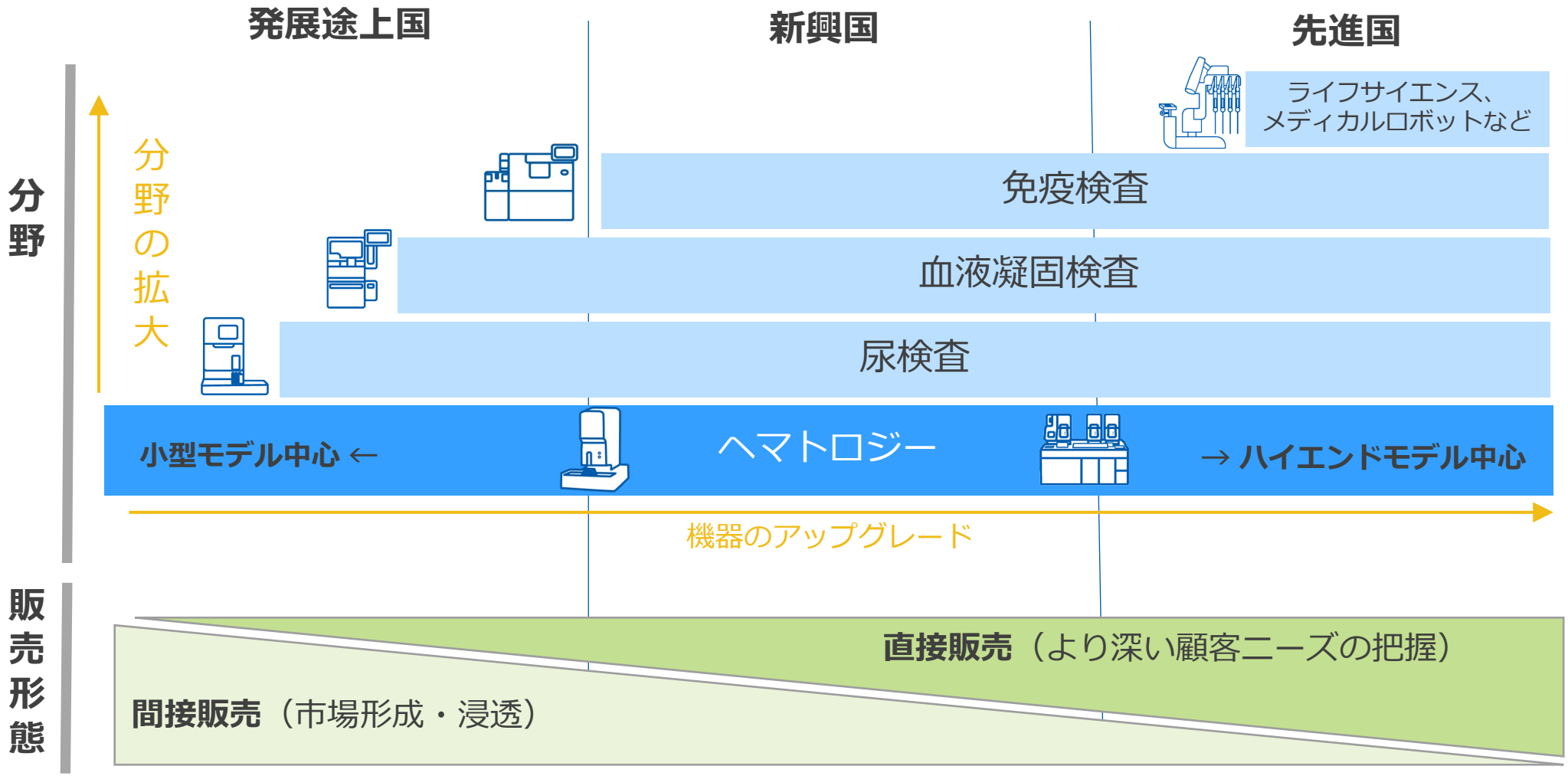
機器生産拠点
国内中心に8拠点
＊中国など地域特有スキームにも対応

（2025年3月末時点）



190以上の国や地域の人々の思いを反映する製品・サービスの展開＆安定的な供給を実現

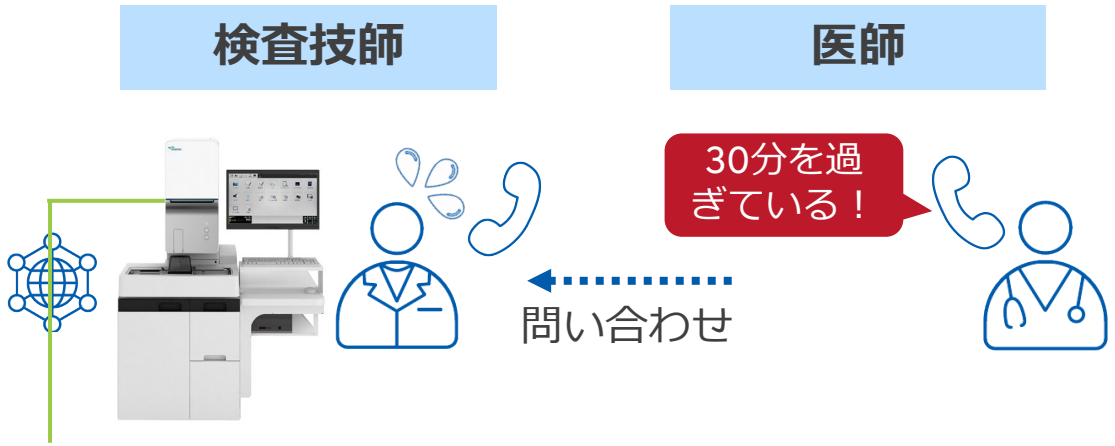
各市場における販売体制と事業ポートフォリオ



市場の特性に応じ、販売体制の構築および事業ポートフォリオを拡充

強固なサービス＆サポート体制

世界中の人々によりよい医療と安心をお届けできる



sysmex

ダウンタイムを軽減するために
故障を未然に防ぐ

24時間365日体制

- ✓ 機器とサポートセンターをネットワーク接続し、状態をリアルタイムに把握
- ✓ 遠隔サポートの実現

- **高い顧客満足度を獲得**

米国ではヘマトロジー分野の顧客満足度
18年連続No.1を獲得





検体検査市場規模と当社ポジショニング

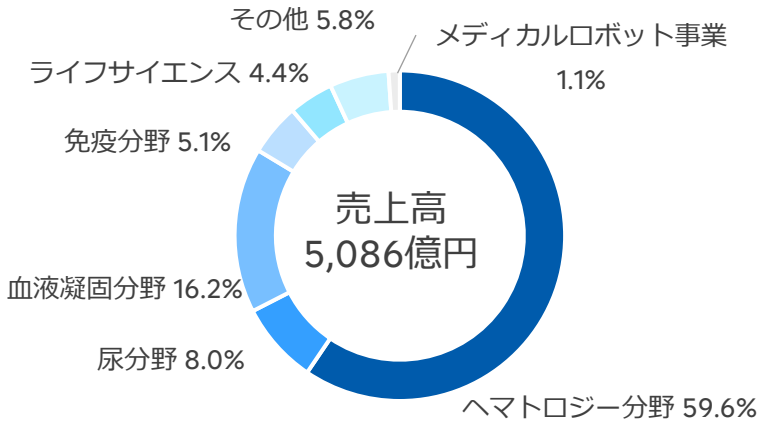
検体検査市場規模				シスメックスの事業領域				
分野	市場規模※1 (百万USD)	市場成長率※2 (2025-2028年)	主要な参入メーカー※1	売上構成比 (2025年3月期)	販売・サービス エリア	主な アライアンス	生産	
							機器	試薬
検体検査市場	96,000*	3%	1位:Roche(Switz.) 2位:Abbott(USA) 3位:Danaher(USA) **8位:Sysmex**	―	―		―	―
ヘマトロジー検査 (血球計数検査)	4,300	3%	**1位:Sysmex** 2位:Mindray 3位:Danaher(Beckman Coulter)(USA)	59.6%	Global	Roche Cellavision	●	●
尿検査 (うち尿沈渣)	1,200 (500)	3% (2%)	**1位:Sysmex** 2位:Danaher(IRIS)(USA)	8.0%	Global	栄研化学 北米：Siemens Healthineers	●	●
血液凝固検査	3,200	3%	**1位:Sysmex**+Siemens Healthineers (Germany) 2位:Werfen(旧IL(Spain)) 3位:Stago(France)	16.2%	Global	Siemens Healthineers	●	○
免疫検査	27,000	3%	1位:Roche(Switz.) 2位:Abbott(USA) 3位:Siemens Healthineers (Germany)	5.1%	Asia	富士レビオ	●	●
生化学検査	9,000	4%	Roche(Switz.), Abbott(USA), Siemens Healthineers (Germany) , Danaher(USA)	0.7%	Asia	―	―	―

※1：検体検査市場および各検査分野での当社ランキング（2025年3月末時点）および市場規模・成長率（2024年度時点）は、開示情報に基づいて当社独自で推定データを算出。
※2：中国を除く：政府主導による医療費抑制政策が進展しており影響を精査中
調査年の為替レートを用いて算出しているため、前年に提示した市場規模との単純比較はできません。

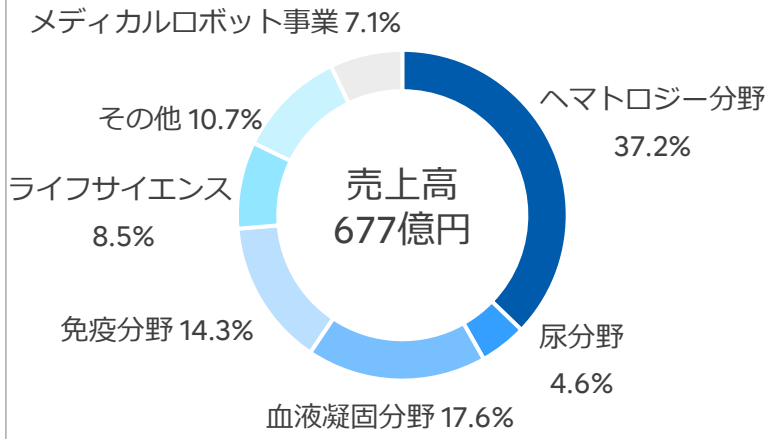
●：自社ブランド
○：一部Siemens HealthineersとのグローバルOEM供給

地域別・分野別の展開状況（2025.3月期）

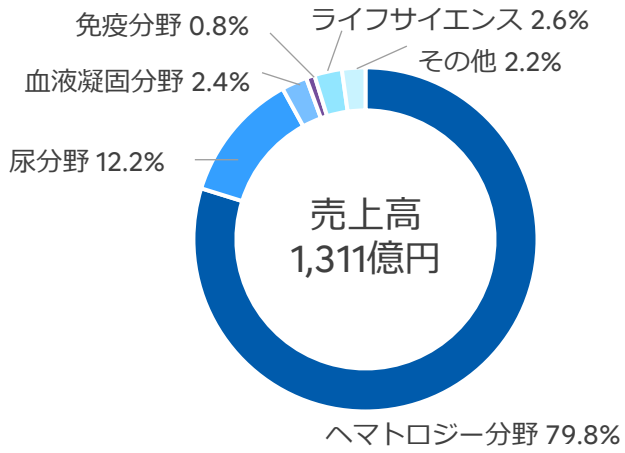
全体



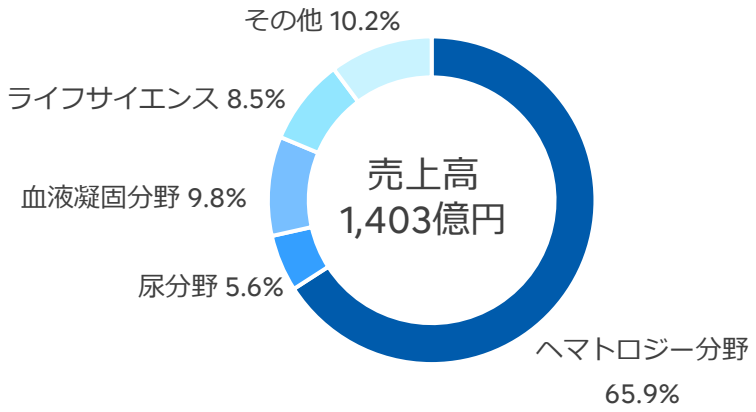
日本



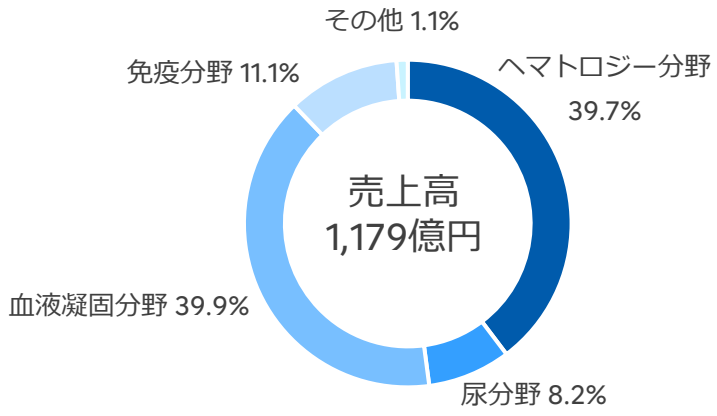
米州



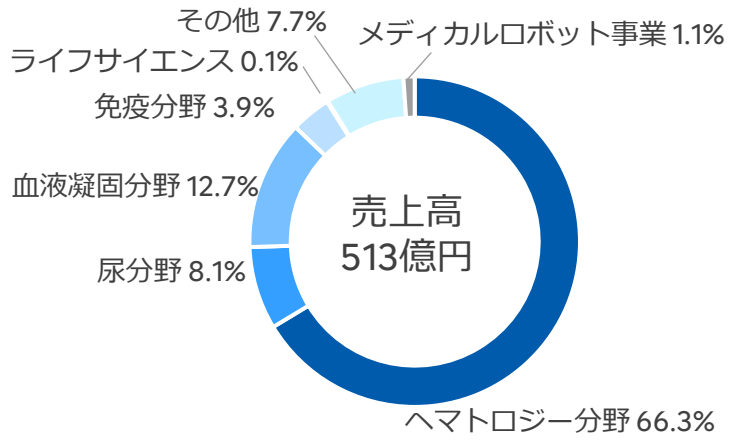
EMEA



中国

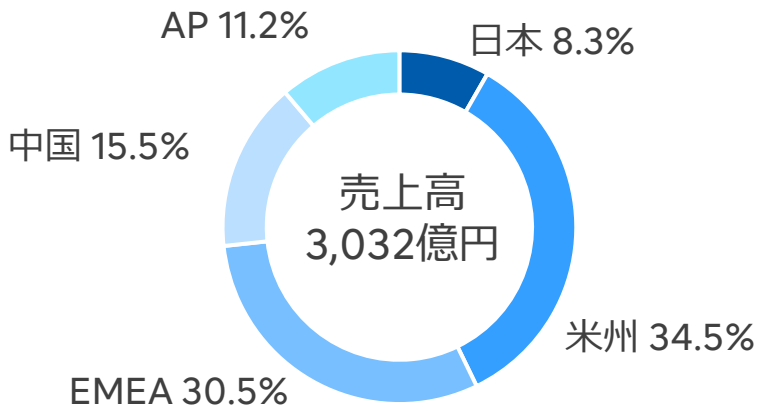


AP

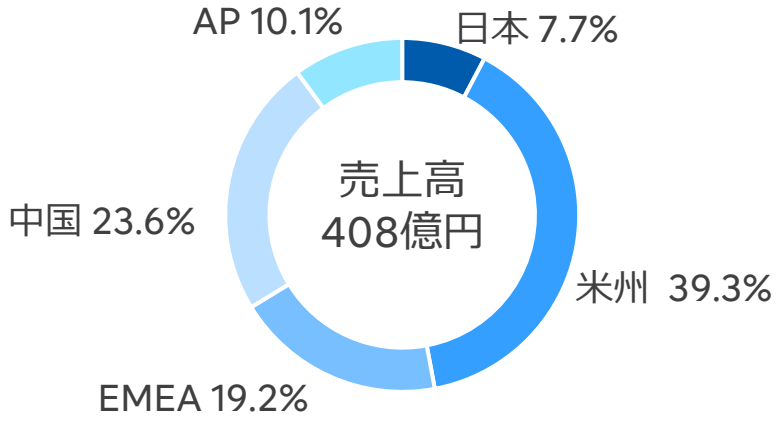


地域別・分野別の展開状況（2025.3月期）

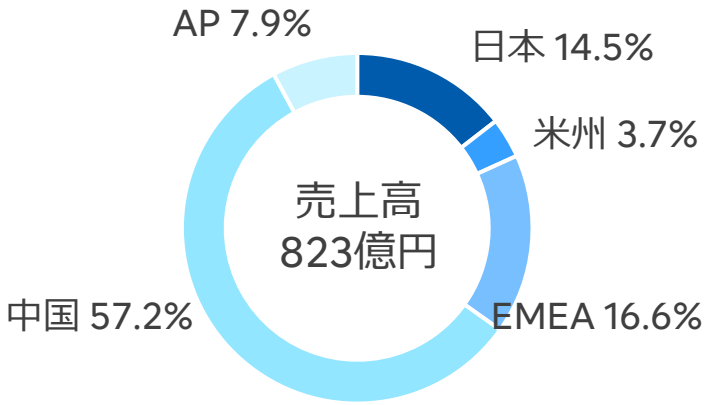
ヘマトロジー



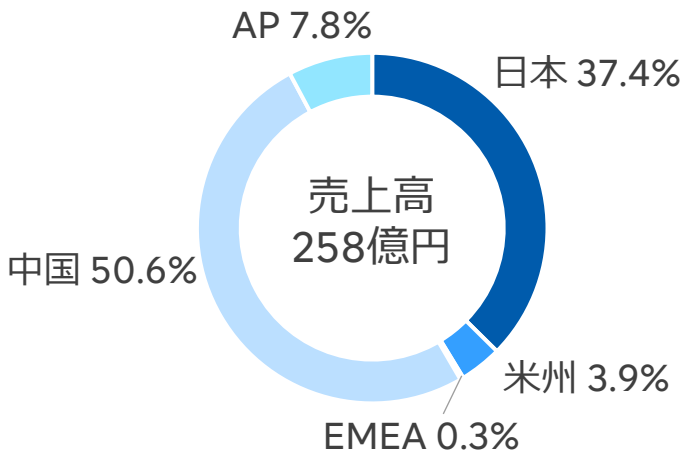
尿



血液凝固



免疫



2 成長戦略における取り組み

加速するヘルステックの進化

ヘルスケア意識の変化

新たな参入企業増加
多様化する医療サービスへの対応

- ✓ **治療から予防へのシフト**
- ✓ セルフメディケーション
- ✓ ヘルスケアエデュケーション
- ✓ 多様化する医療サービス



デジタル技術の加速

デジタル医療の拡大
商品・サービスの開発
スピード激化への対応

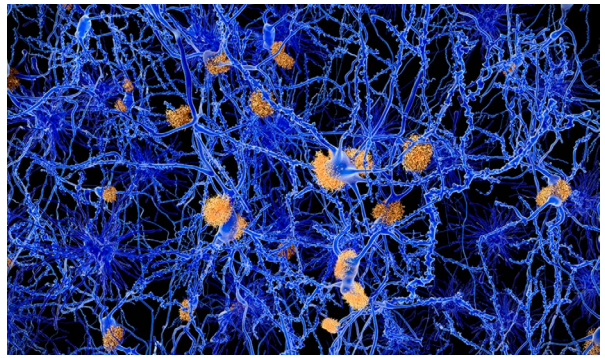
- ✓ **AIの急激な産業活用・医療業界での活用**
- ✓ 遠隔医療の本格化
- ✓ **デジタル技術を用いた商品開発スピード、分析性能の向上**



新しい治療モダリティ

より高度化される
治療への対応

- ✓ 新たなアルツハイマー病治療薬
- ✓ 再生細胞医療の実用化
- ✓ 遺伝子改変技術の応用



長期経営戦略：長期ビジョン

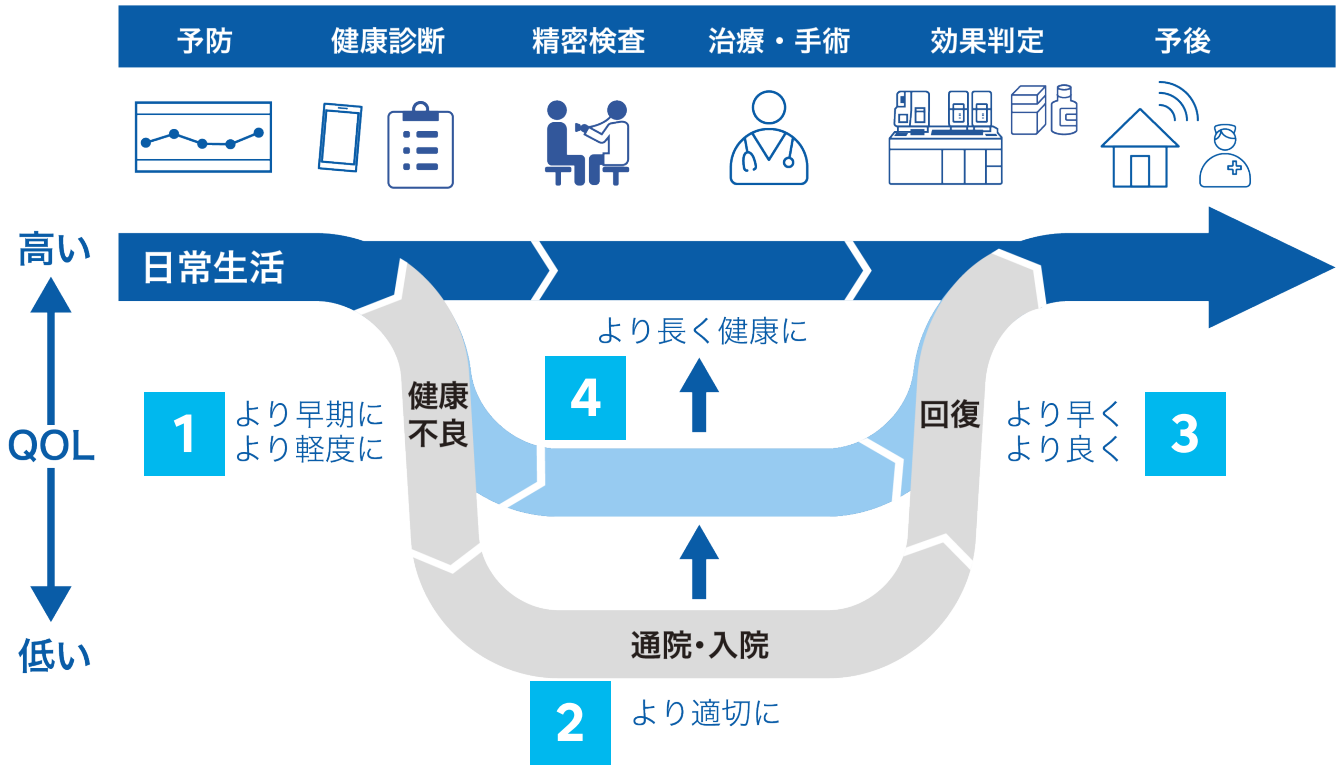
「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」

ヘルスケアジャーニー

- 人が一生の中（ライフステージ）で、自身のヘルスケアについて経験する各種イベントと、医療機関などを含む対応のプロセスを「旅路」として捉えたもの
- 当社の事業領域も、従来の「ダイアグノスティクス」に、予防・未病・予後のモニタリングを加えた「ヘルスケアジャーニー」へ拡大

長期経営戦略：提供価値

ヘルスケアジャーニーの各シーンにおいて、世界の人々のQOL向上に貢献し、
医療および医療費の最適化を通じた豊かな健康社会を実現



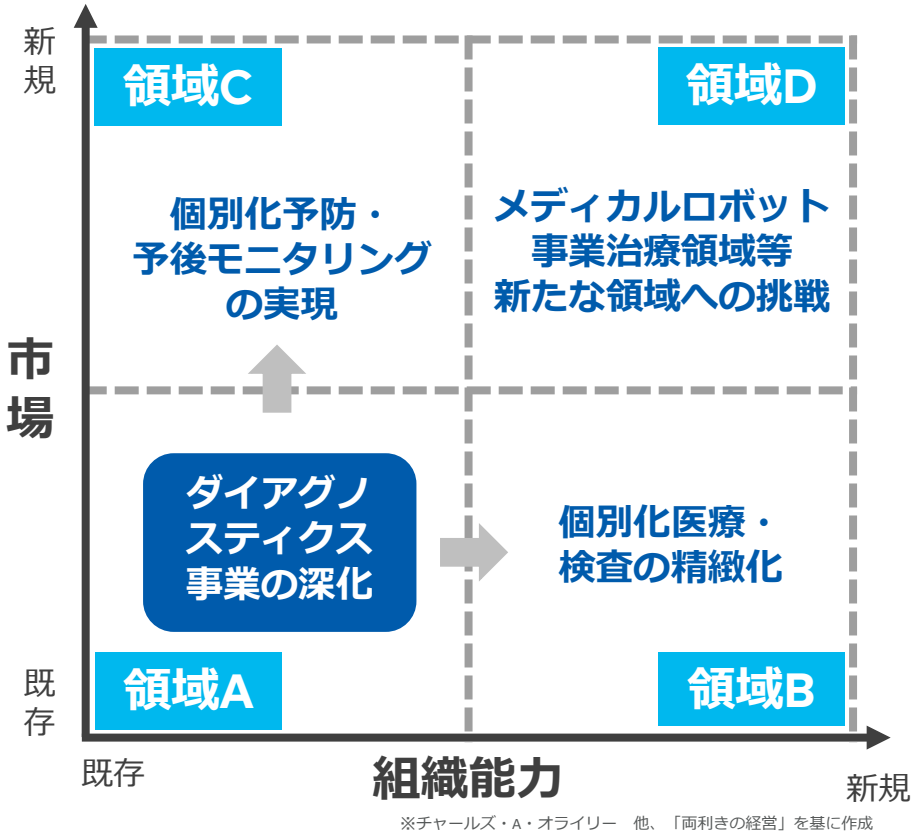
シスメックスの提供価値

1. より早期に、より軽度の段階で病気を発見するための検査や情報を提供
2. 病気になった時、より精緻な診断や個人に最適な治療法を選択できる、検査や情報を提供
3. より早く、より良い状態に回復するためのモニタリング検査や情報を提供
4. より長く健康な生活に貢献するための検査や情報を提供

長期経営戦略：事業領域

既存事業の深化と新規事業の創出により、事業領域を拡大

「ダイアグノスティクス（ヘルスケアテスティング）からヘルスケアジャーニーへ」



※チャールズ・A・オライリー　他、「両利きの経営」を基に作成

領域A ダイアグノスティクス事業の深化

（1）ヘマトロジー・尿分野の新興国市場のシェア拡大と圧倒的競争優位の維持
（2）免疫分野における試薬項目拡大とグローバル展開
（3）新たなアライアンスによる血液凝固分野のグローバル展開

領域B 個別化医療・検査の精緻化

（1）ゲノム検査を活用したユニークなライフサイエンス分野の展開
（2）個々の治療を最適化する検査・診断法の提供

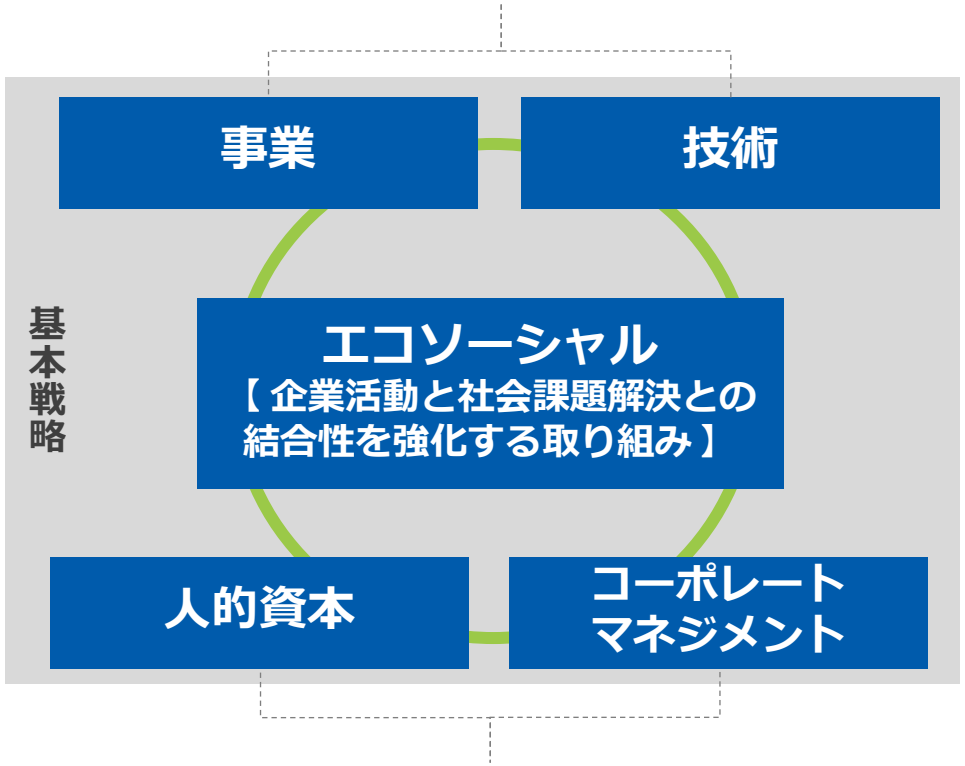
領域C 個別化予防・予後モニタリングの実現

（1）未病・予防・予後モニタリングを対象とする新たな検査の実現
（2）ヘルスケアデータを活用した新たなヘルスケアサポートの実現

領域D メディカルロボット事業 / 再生細胞医療

長期経営戦略：戦略・目標

目標達成に向けて、5つの要素で構成される基本戦略を軸に推進し、1兆円企業を目指す



財務目標

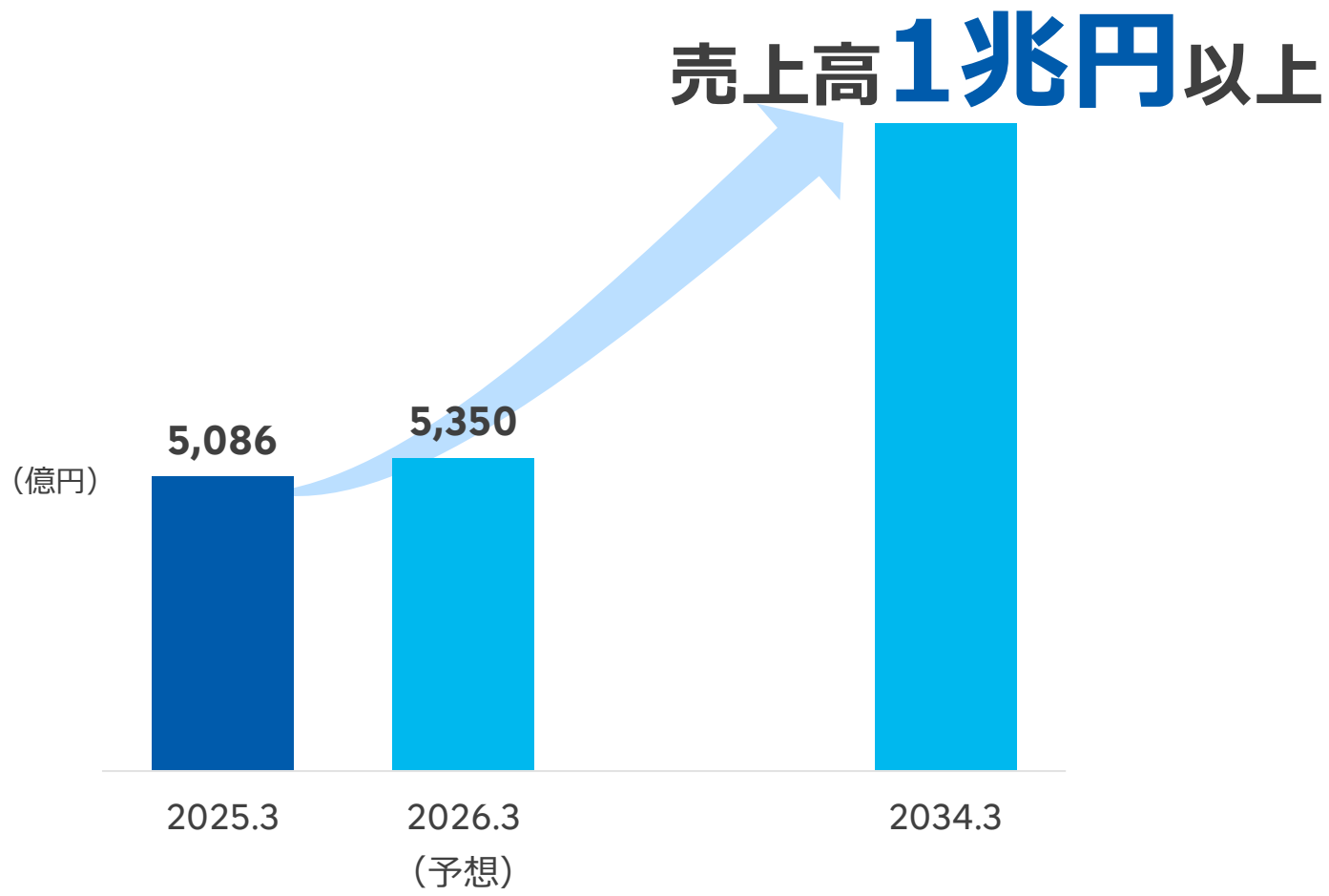
- 成長性
  - 売上高 ：1兆円以上
- 収益性
  - 営業利益率 ： 20%以上

サステナビリティ目標

- プロダクトロスのゼロ化
  - 未使用廃棄率 ：0.1%未満
- リサイクル・環境配慮材料への代替
  - 容器と包装材への利用率 ：100%

シスメックスの成長戦略

世界中の人びとの、健康で豊かな暮らしの実現を目指し、進化を続ける



成長戦略

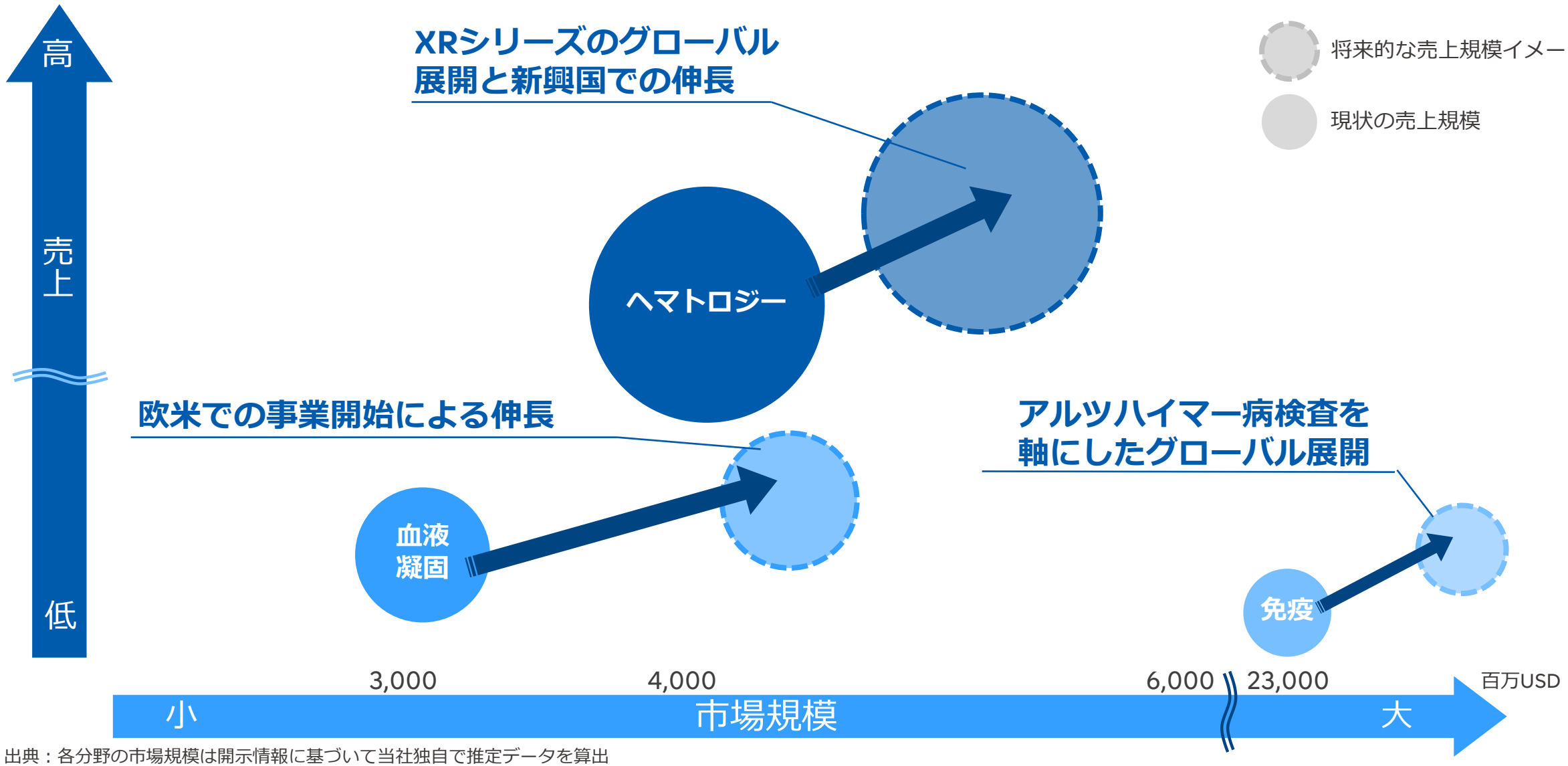
I. 既存事業の強化

II. 新興国での事業拡大

III. 新規事業の拡大

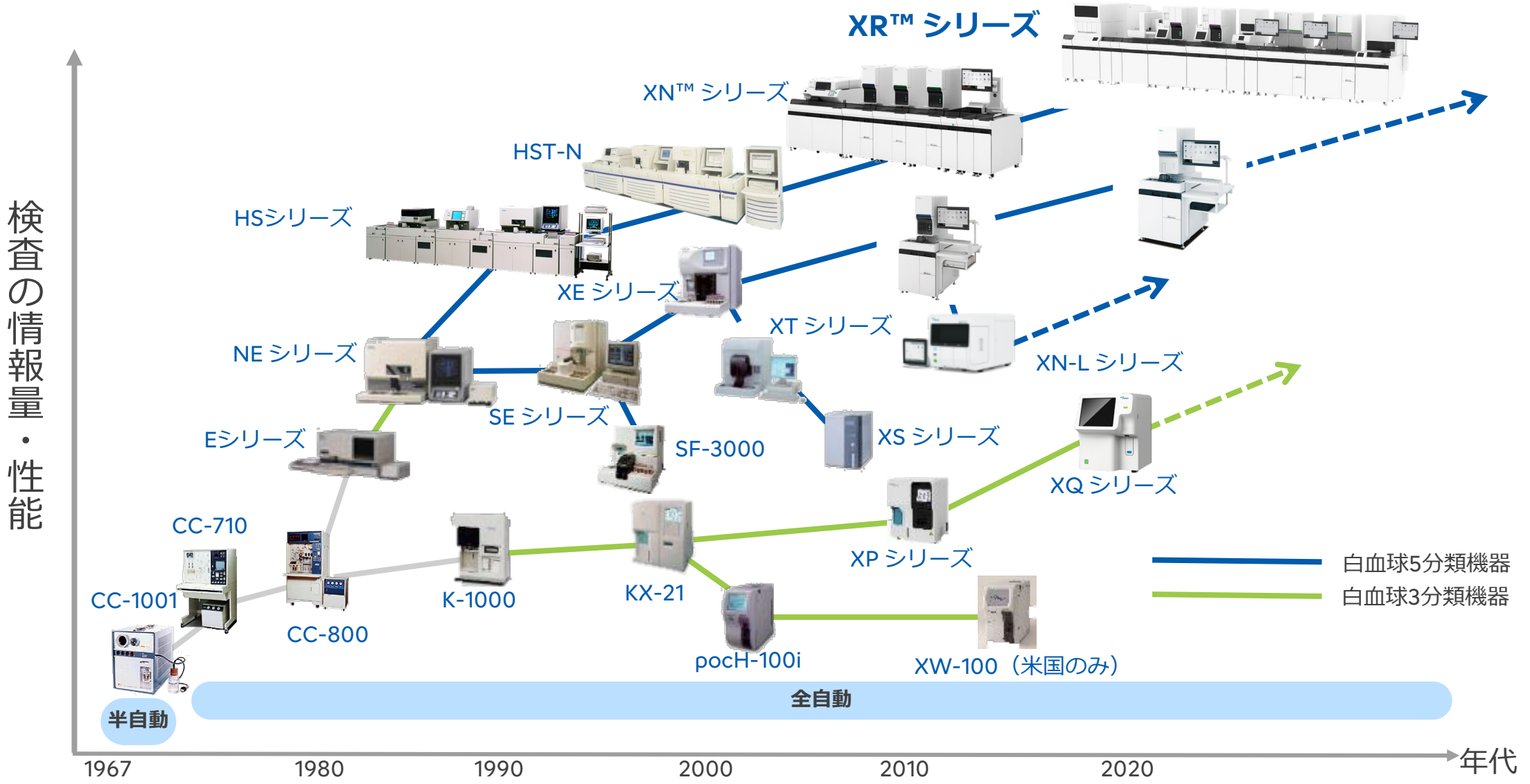
Ⅰ　既存事業の強化

既存事業の成長ポテンシャル



出典：各分野の市場規模は開示情報に基づいて当社独自で推定データを算出

ヘマトロジー機器製品の変遷



ヘマトロジーシェアNo.1企業として常に新たな価値を創造

ヘマトロジー分野における新たな価値創出

タッチフリーコンセプトによるフルオートメーション化の実現



多項目自動血球分析装置
XR-9000

自動シャットダウン ← 検体収納 ← 血液像分析 ← 塗抹標本作成 ← 検体並び替え ← 測定 ← 自動精度管理 ← 自動立ち上げ

①精度管理測定の自動化



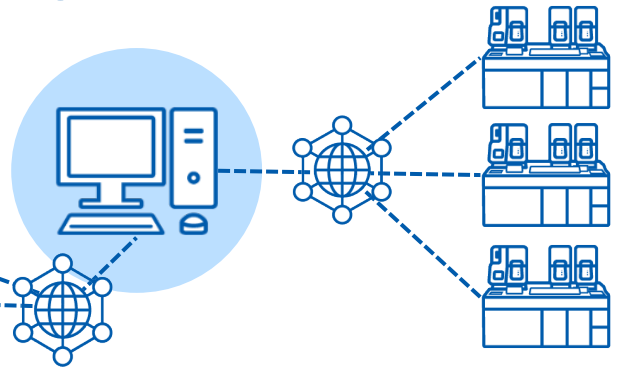
バーコードターミナルBT-50

②試薬交換の一括化



試薬供給装置RM-10

③分析装置の集中管理



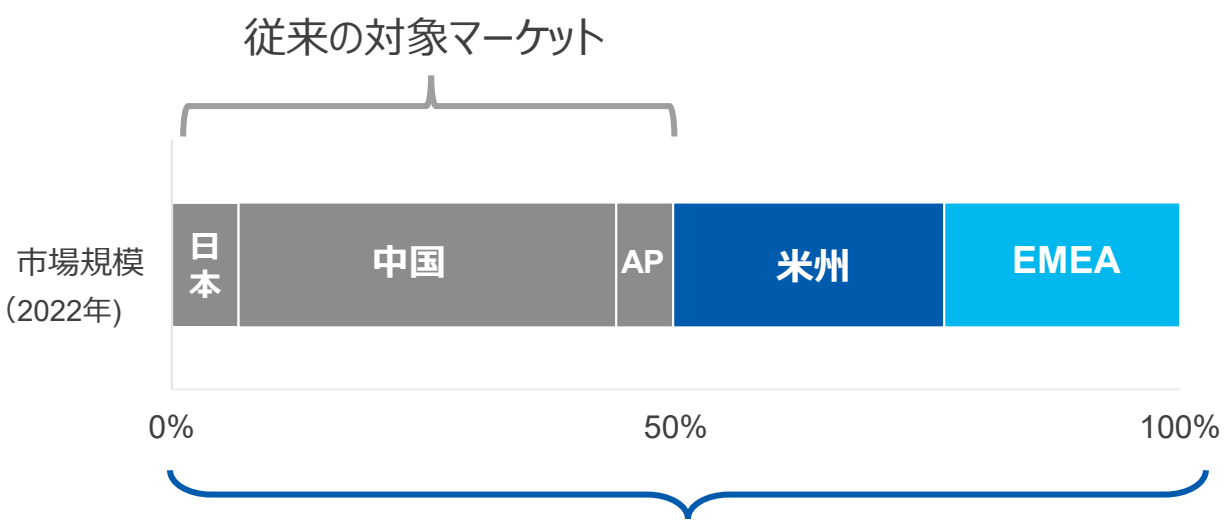
ヘマトロジーダッシュボード

血液凝固分野における戦略

血液凝固分野におけるSiemens社とのグローバルOEM契約
（2024年4月1日～）

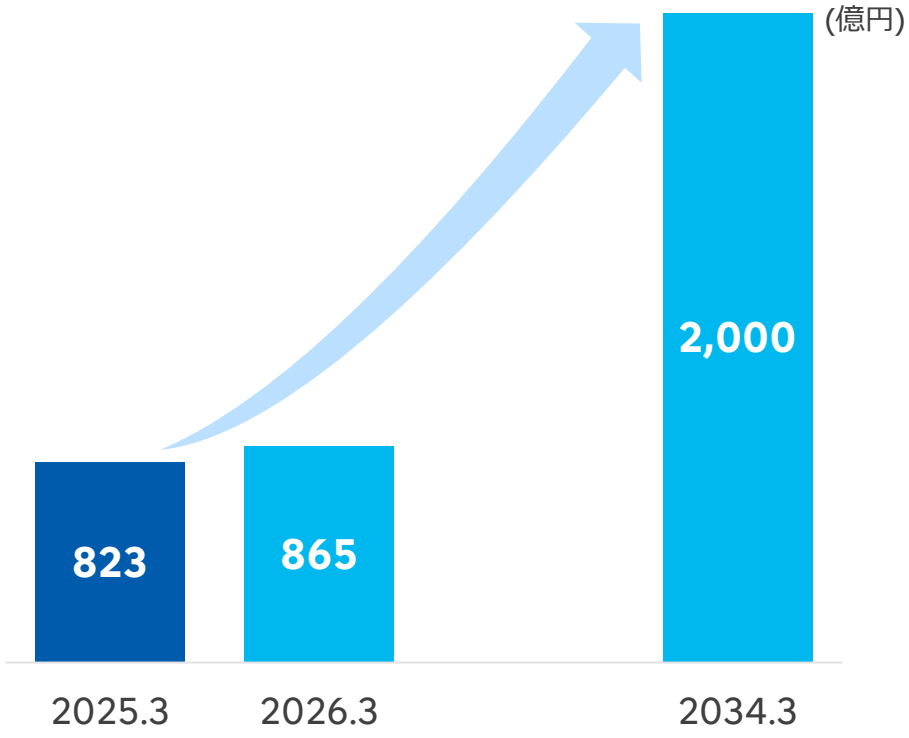
対象マーケットが約2倍へ拡大

血液凝固分野　市場規模



2025年3月期以降の対象マーケット
約30億ドル

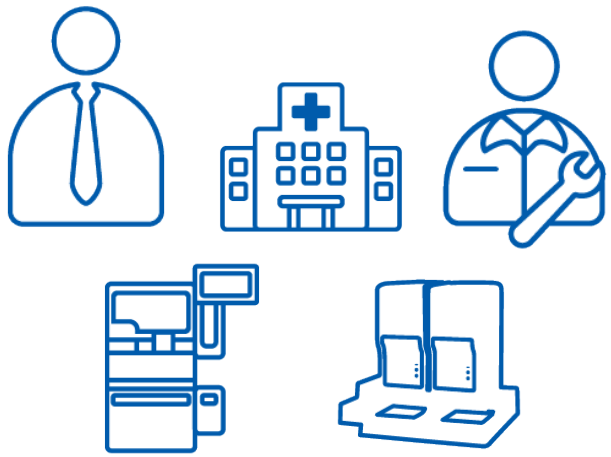
血液凝固分野の売上高実績と計画



血液凝固分野における戦略

グローバルな販売網と豊富な人材

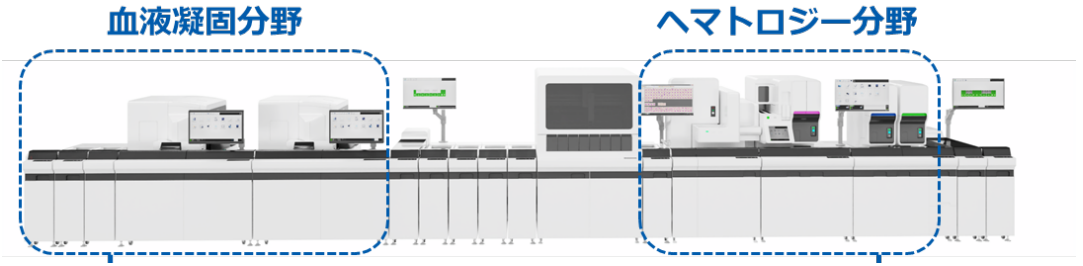
ヘマトロジー分野のチャネルを活用



欧米でのヘマトロジー分野の
高い顧客満足度、No.1シェアの強み

欧米での血液凝固ビジネスに
ヘマトロジーとのシナジー効果を最大限発揮

- ✓ 米国における顧客満足度調査18年連続No.1
- ✓ シェアNo.1のヘマトロジー既存システムへ凝固機器を拡張

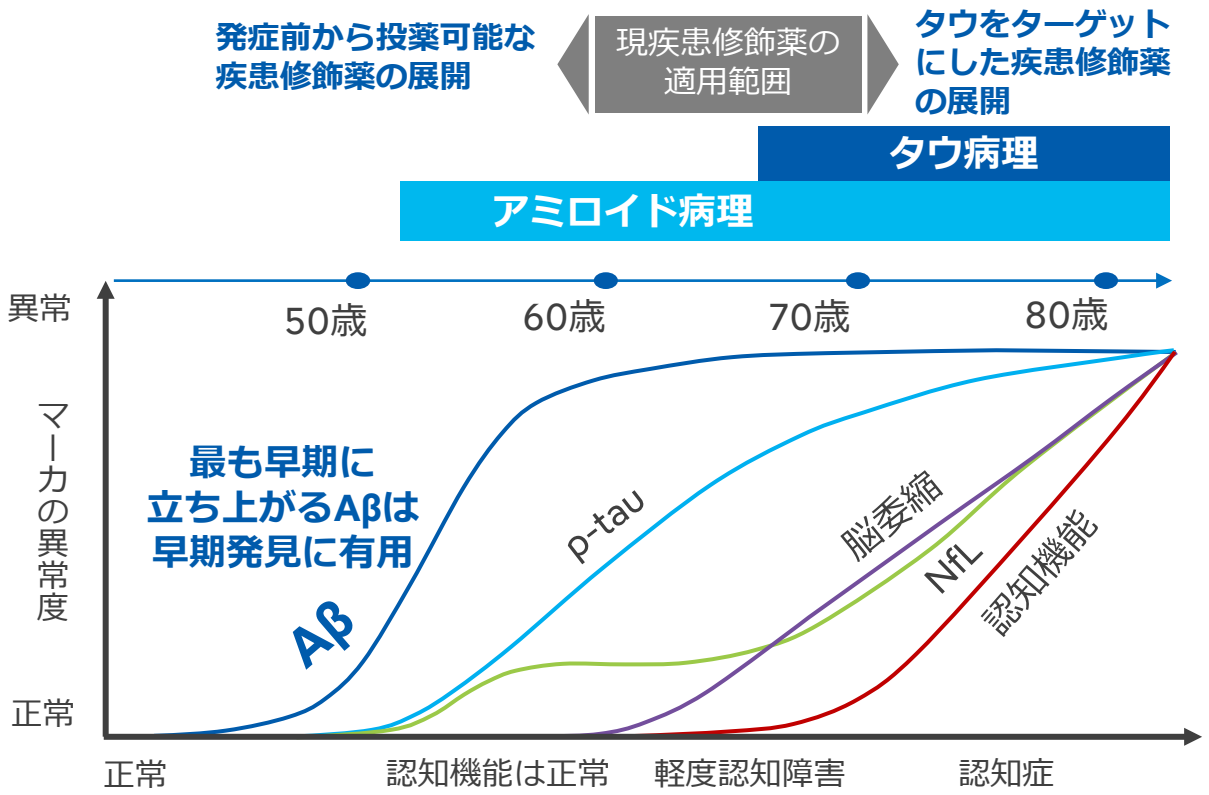


血液凝固分野でも顧客からの信頼の高い製品・サービスを提供

免疫分野の拡大 1

新たなアルツハイマー病検査方法の確立へ

- **早期発見に最適な血液バイオマーカー群の開発**



- **身体的負担と社会的コストを軽減した健康社会へ**

現状 **（診断）**今は診断に使用



画像検査



髄液検査

- ✓ 高コスト
- ✓ 身体的負担が大きい（痛い）
- ✓ 検査が可能な病院が少ない

NEW **（診断＋予防）**病院や健診センターで検査が可能



血液検査



機器

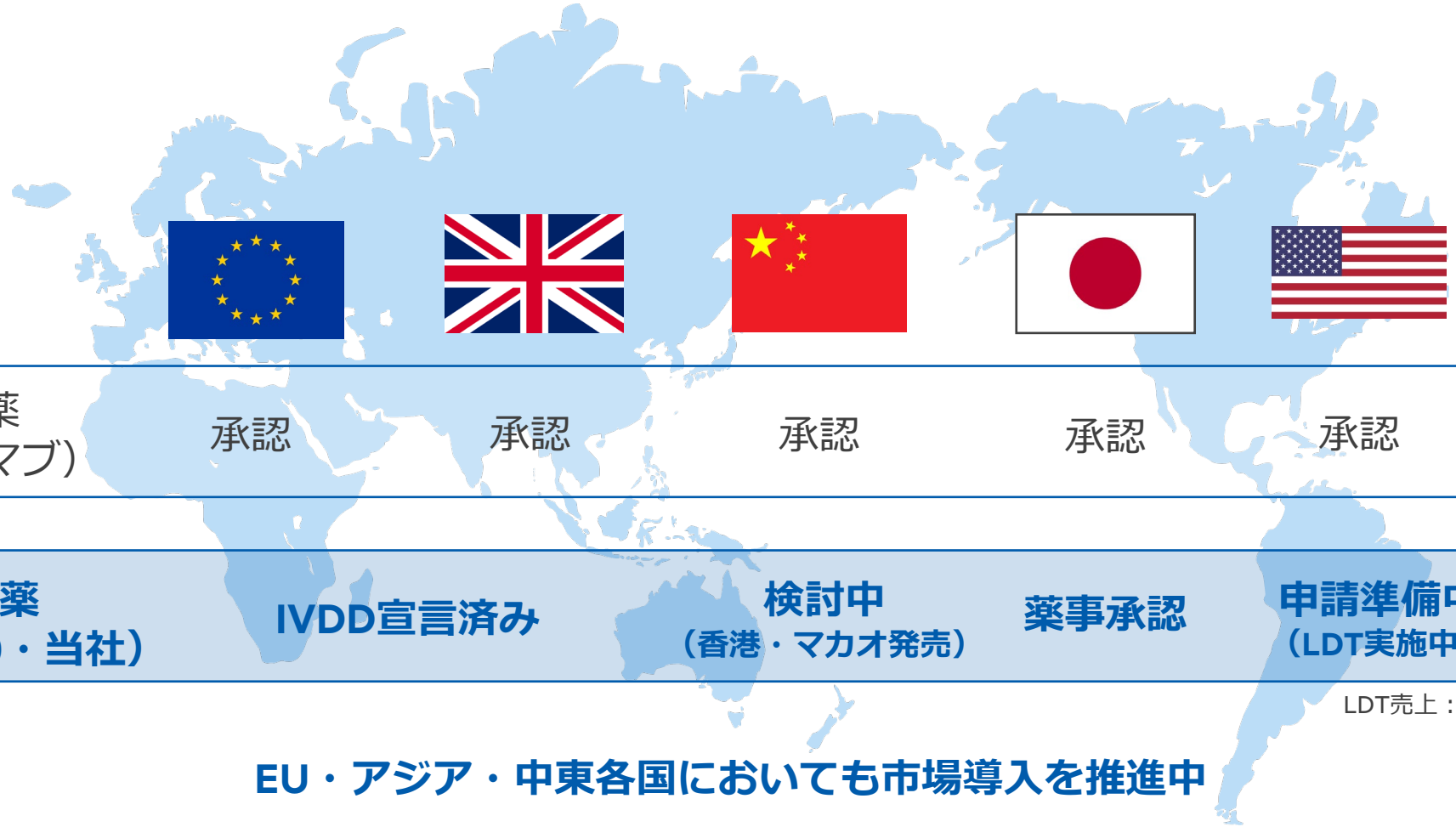


試薬

- ✓ 低コスト
- ✓ 身体的負担少ない（簡便）
- ✓ 多くの病院で検査が可能

免疫分野の拡大 2

アミロイドβ検査薬をドアオープナーとしてアジアから欧米へ展開地域を拡大



治療薬（レカネマブ）	承認	承認	承認	承認	承認
診断薬（Aβ42/40・当社）	**IVDD宣言済み**		**検討中（香港・マカオ発売）**	**薬事承認**	**申請準備中（LDT実施中）**

LDT売上：6.6MUSD

EU・アジア・中東各国においても市場導入を推進中

免疫分野の拡大 3

脳内の状態を正確に把握し、適切な投薬につなげていくために、
複数のバイオマーカを並行して開発中

AA 2024 Diagnosis and Staging Criteria

バイオマーカー カテゴリー	脳脊髄液・血液 バイオマーカー	画像 バイオマーカー
A	Aβ42	Amyloid PET
T1	p-tau217, 181, 231	
T2	MTBR-tau243, p-tau205, tau fragments	Tau PET
N	NfL	Anatomic MR, FDG-PET
I (Inflammation)	GFAP	
V (Vascular brain injury)		Infraction on MR or CT, WMH
S (α-Synuclein)	α-Synuclein SAA*	

* Seed Amplification Assay

青文字：開発中

- ✓ Aβ42：上市済み
- ✓ p-Tau217：2025年度上市予定（研究用）
- ✓ その他：研究用として随時市場評価予定

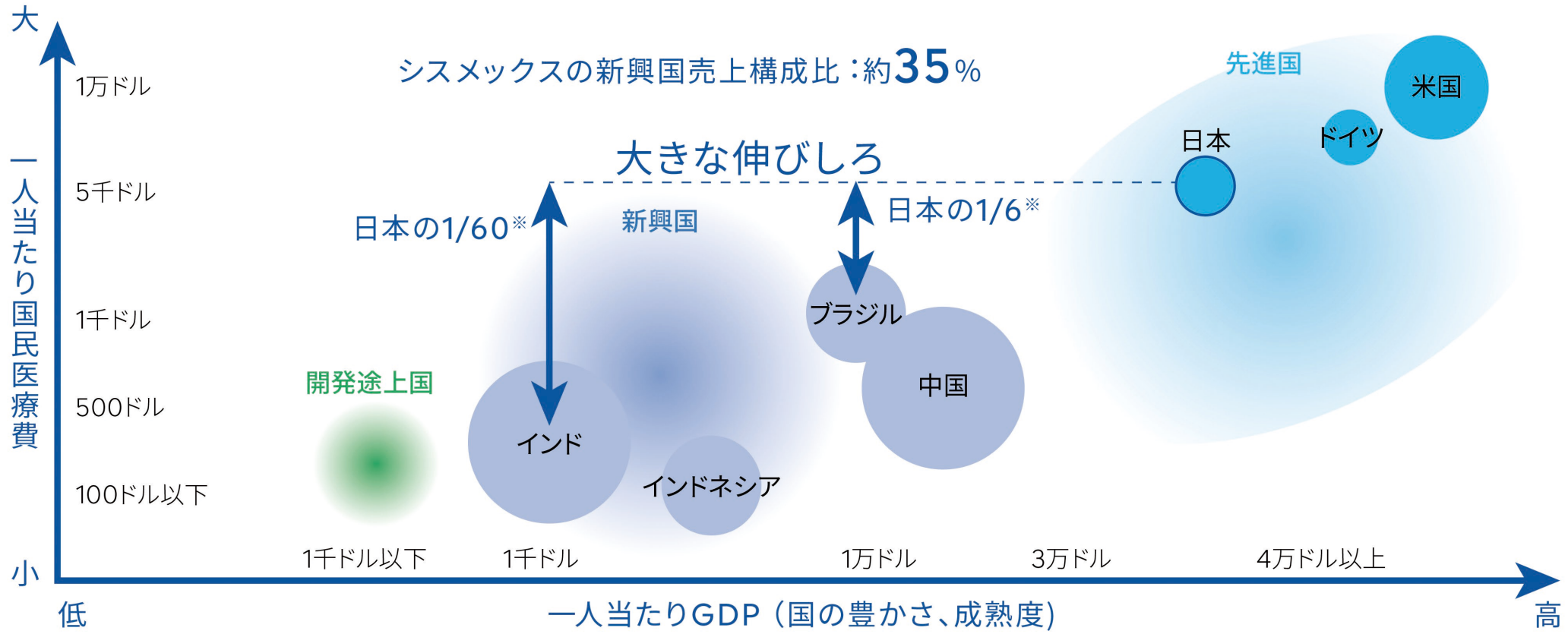
引用・改変： Clifford R Jack Jr et al., “Revised criteria for diagnosis and staging of Alzheimer's disease: Alzheimer's Association Workgroup”, Alzheimers Dement. 2024 Jun 27;20(8):5143–5169.

Ⅱ　新興国での事業拡大

新興国での成長ポテンシャル

新興国での医療品質向上はマーケットの大きな伸びしろ

■ヘルスケア市場のポテンシャル



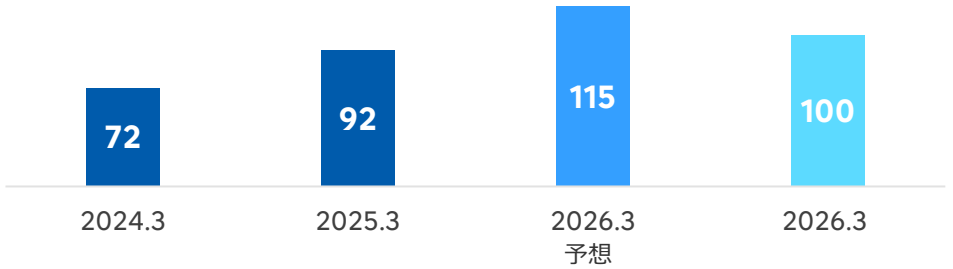
※一人当たりの国民医療費の比率　（注）円の大きさは人口規模

出典：World Health Organization 2021

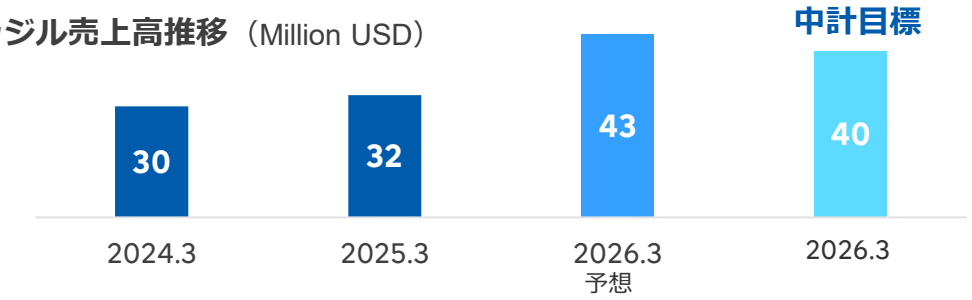
新興国戦略

各地域の取り組みが奏功し、大幅伸長。計画を前倒しで達成見込み

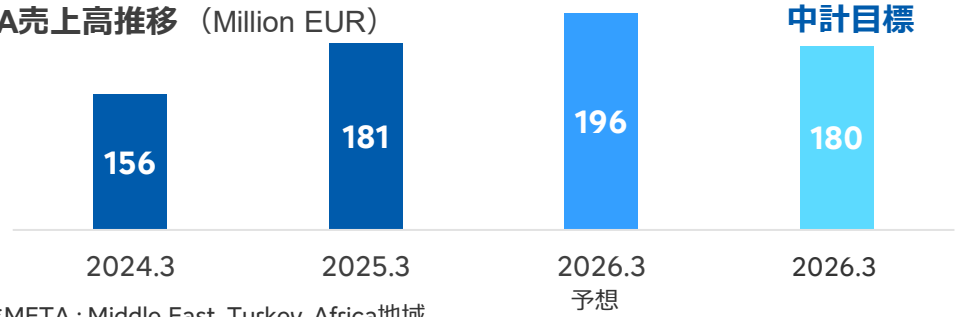
インド売上高推移 （億円）



ブラジル売上高推移 （Million USD）



META売上高推移 （Million EUR）



*META : Middle East, Turkey, Africa地域

✓ **進捗**

- インドに新生産拠点設立
- サウジアラビアなど直販エリアの売上拡大
- ケニアに現地法人設立

✓ **今後の予定**

- Make in Indiaに対応した機器の販売開始
- 直販エリアでのサービス＆サポートの強化
- ブラジルにおいて新生産拠点設立の準備開始



インド新生産拠点稼働開始



インド市場向け
多項目自動血球計数装置 XQ-320

Ⅲ　新規事業の拡大

新規事業の拡大：メディカルロボット事業

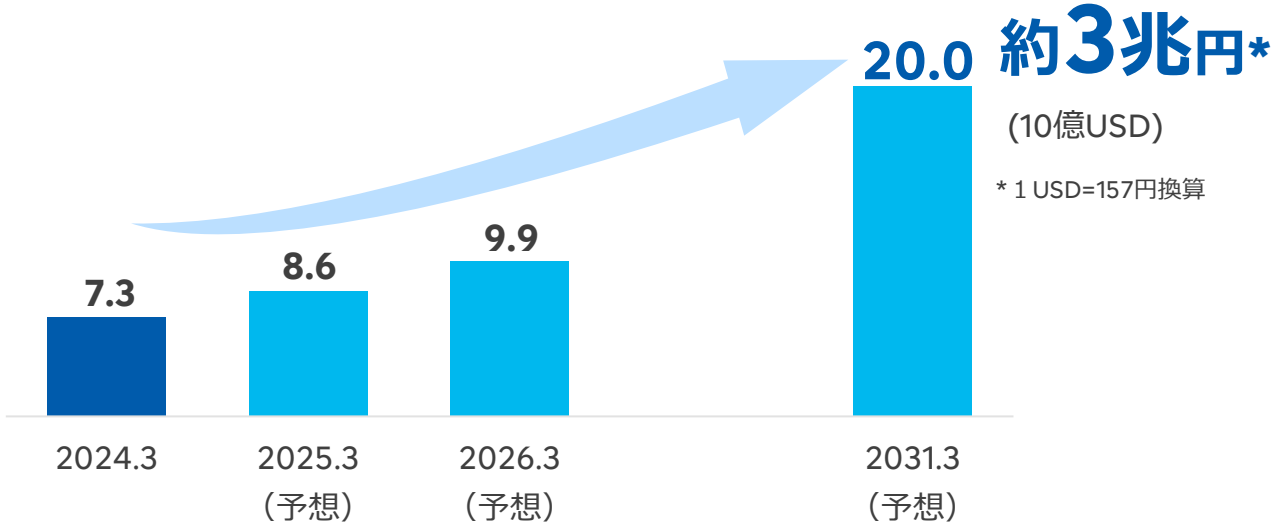
手術支援ロボットが医療を新たなステージへ

医療ニーズ

- ✓ 患者負担が少なく、早期社会復帰への貢献
- ✓ 手術支援ロボットによる精密な手術の実現
- ✓ 遠隔手術への期待

グローバル市場規模

- ✓ 2030年の市場規模は現在の約3倍まで成長予想



約3兆円*

(10億USD)

* 1 USD=157円換算

新たな領域への挑戦

sysmex 【総販売代理店】 × Kawasaki 【開発・生産】

Medicaroid 【製造販売業】



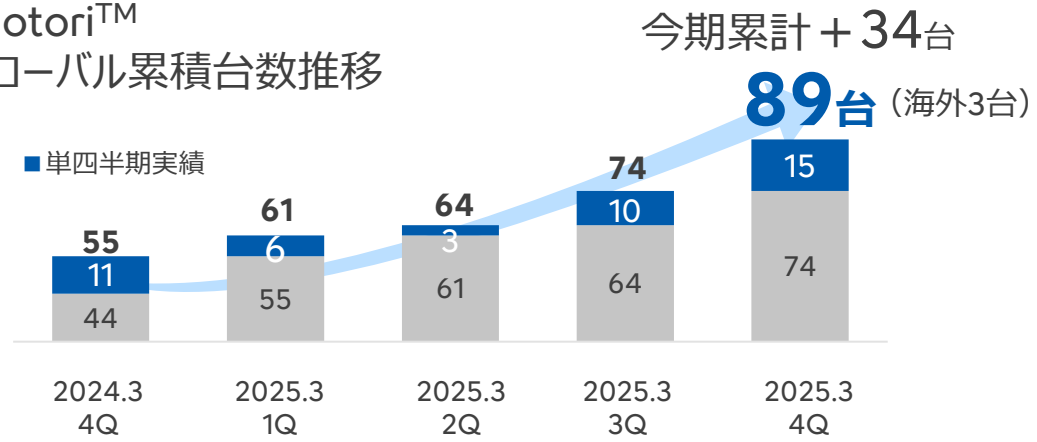
（注）顧客購入価ベース 出典：TechSci Research + Intuitive Surgical Annual Report 2021 (2025年迄)、 2030年はメディカロイド予測

新規事業の拡大（メディカルロボット事業）

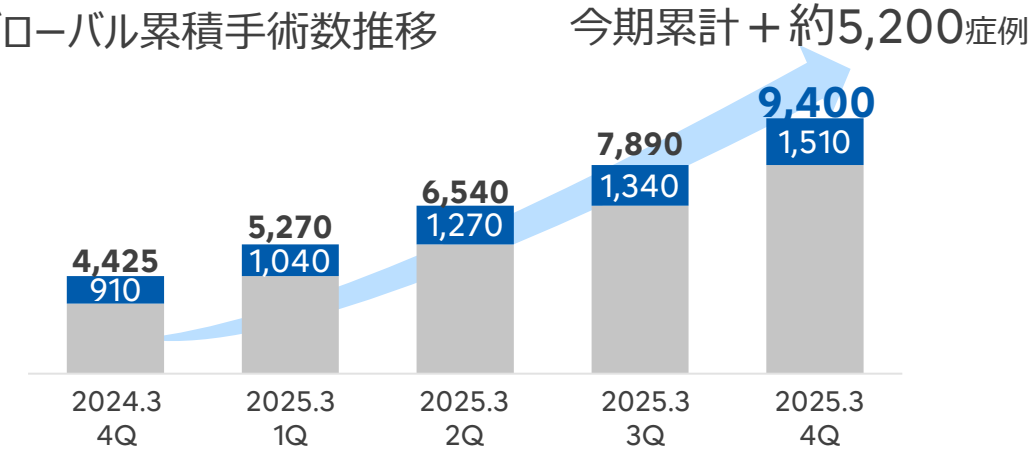
海外市場への導入も着実に進み、ビジネス環境は良好

2025年3月期の進捗

■ hinotori™
グローバル累積台数推移



■グローバル累積手術数推移



今後の取り組み（グローバル展開計画）



2026年3月期：欧州市場参入予定
2025.3月期4Q 薬事申請実施

2027年3月期：米州市場参入予定

2025年3月期：シンガポールとマレーシアで3台設置

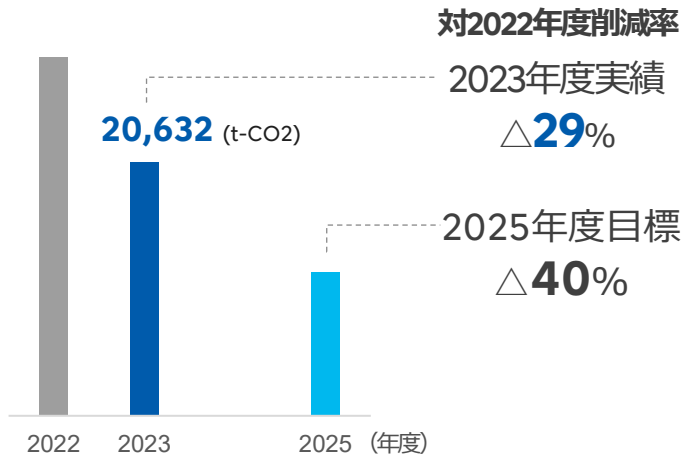


3 サステナビリティトピックス

直近のサステナビリティトピックス

E

● 温室効果ガス排出量削減 (2024.3期)
(スコープ1, 2)



● SBTi 認証を取得※ (2024.7)

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

※2033年 Scope 1,2 を55%削減目標、Scope3における販売した製品使用によるGHG排出量35%削減目標に対して

● プラスチック製容器の水平リサイクル実用化を国内で開始

免疫測定装置 洗浄液の試薬容器を
同じ種類の容器に再製品化



試薬容器

G

● 資本コストを意識した取り組み (2024.5)

- ROIC感応度マネジメントの導入
- 戦略・投資バランスマネジメントの強化

● 人権デュー・デリジェンスを実施 (2025.3期)

ヘマトロジー分野を中心に、
国内外のサプライヤーに対し
調査票による調査を実施

調査対象企業
約400社

回答率
約70%

直近のサステナビリティトピックス

S（社会・人的資本）

● 薬剤耐性対策に対する貢献への期待

迅速薬剤感受性検査システムが英国最大の科学賞
Longitude Prize on AMRを受賞 (2024.6)

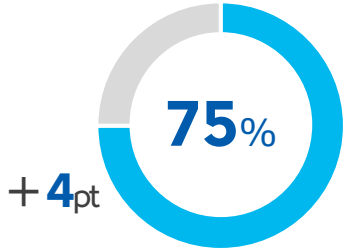




迅速薬剤感受性検査システム

● 従業員エンゲージメントの向上 (2024.3期)

エンゲージメント
スコア



＋4pt

■ 日本地域の改善が貢献（56%→65%）

改善施策例：

・ジョブ型人事制度の浸透

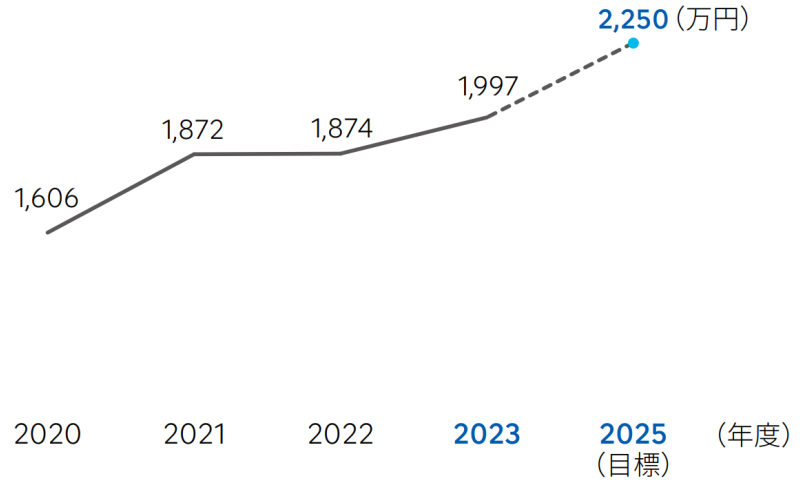
・多様な働き方の実現（中抜け制度など）

・魅力ある報酬の実現（従業員向け信託型株式報酬制度）

● 付加価値生産性は堅調に推移 (2024.3期)

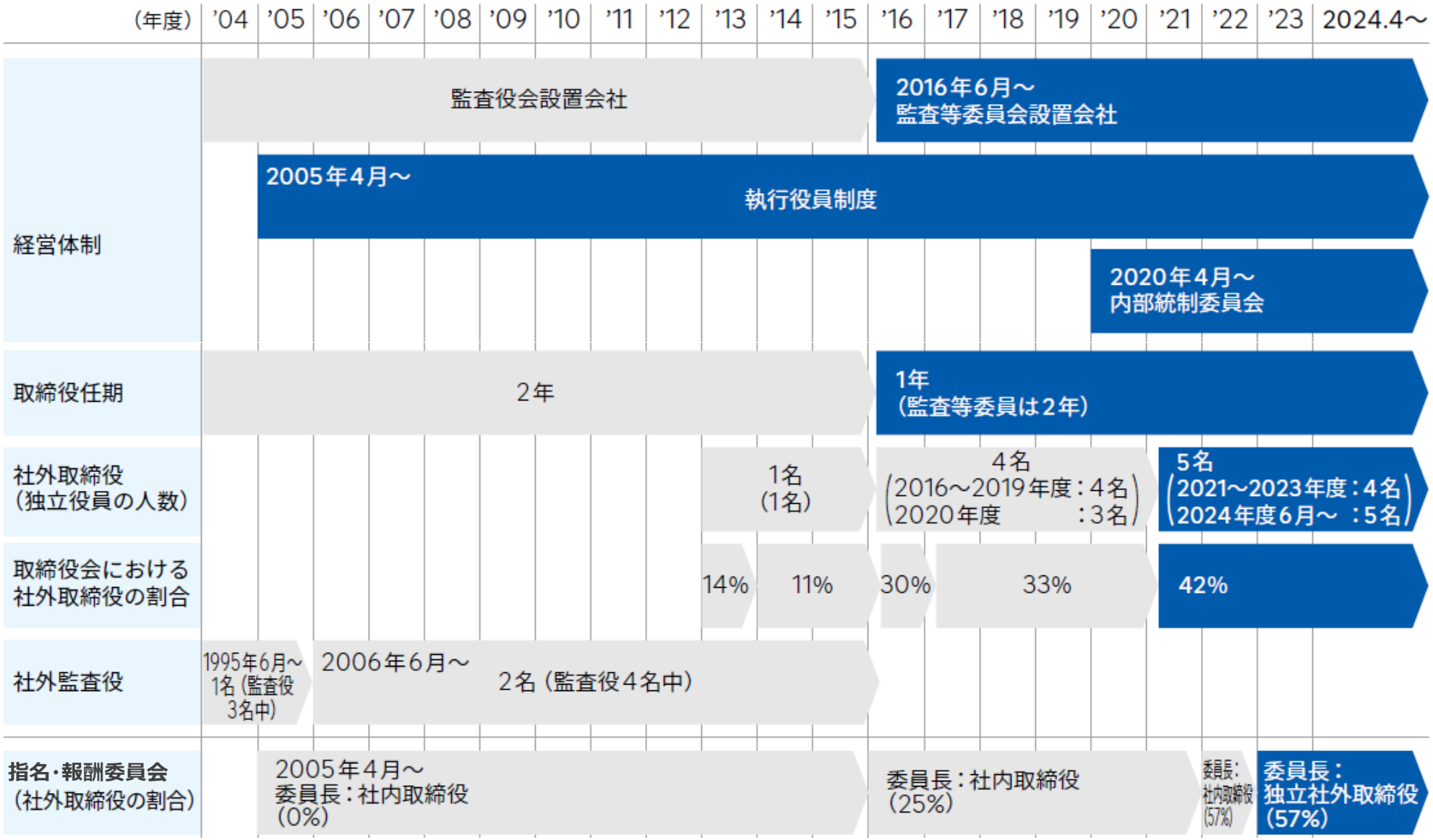
人的資本投資を積極的に行いながらも、
人員数は適切に保ち、生産性向上を実現

■一人当たり付加価値生産性※（グループ）



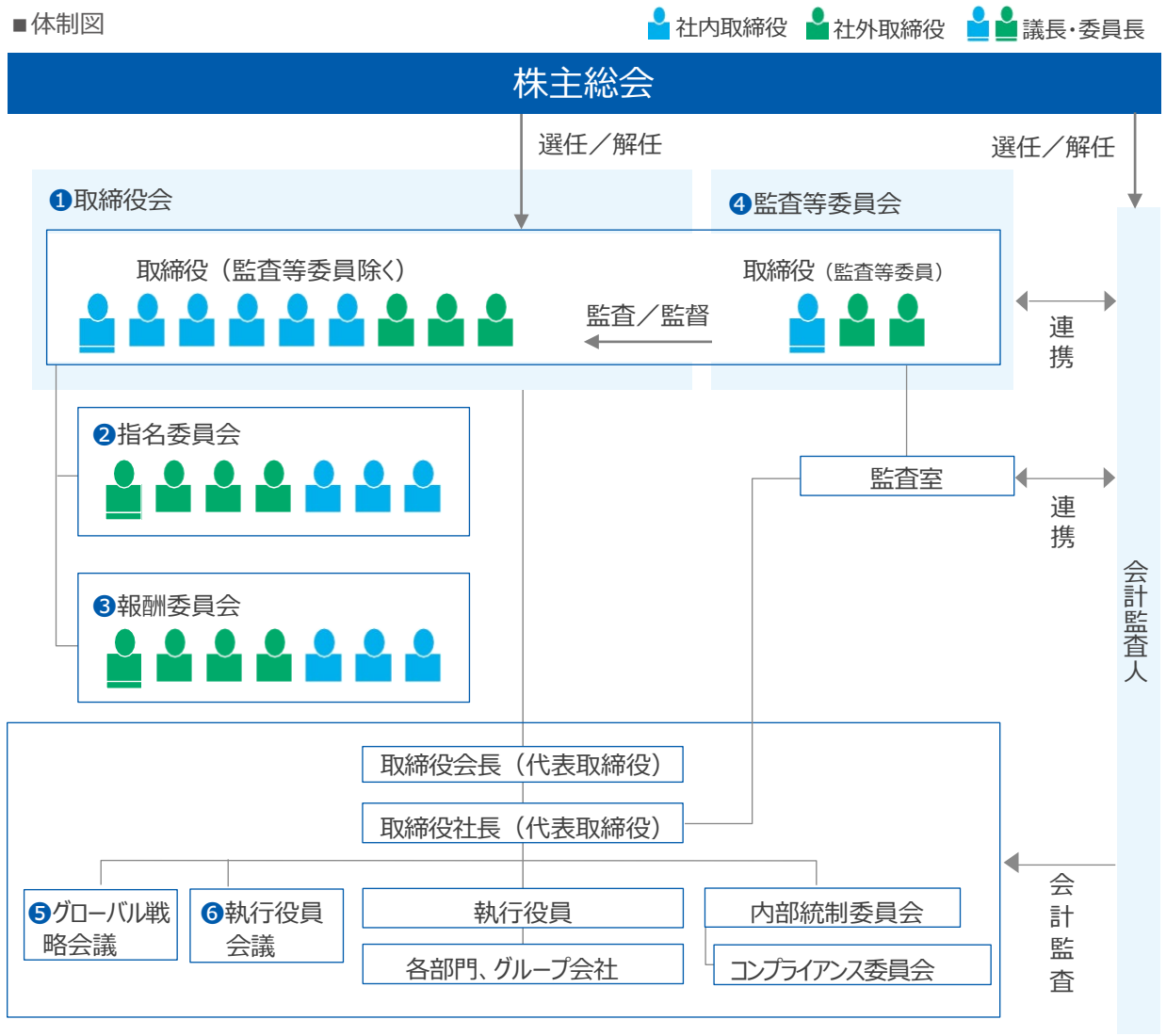
※（営業利益＋人件費＋償却費）÷従業員数

コーポレートガバナンスの変遷



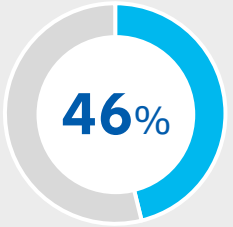
ガバナンス体制

■体制図

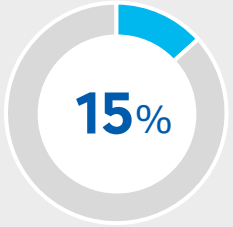


● 取締役会

社外取締役



女性



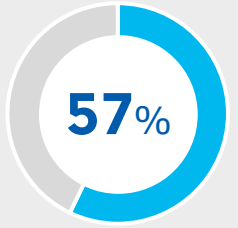
※58期定時株主総会に付議する予定

● 指名委員会・報酬委員会



社外取締役
指名委員会委員長
報酬委員会委員長
太田 和男

社外取締役



● 取締役会実効性向上に向けた取り組み

- 審議案件について毎回事前説明を実施
- 執行役員や次世代人材との対話・交流機会設定
- 事業所見学を通じた各種機能の理解向上

外部からの評価

世界的なサステナビリティインデックス等に採用

DJSI World Indexの構成銘柄に9年連続で選定



ヘルスケア機器業界内ランキング※

1位

※58社中

2024 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent

2024 CONSTITUENT MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

FTSE4Good

Corporate ESG Performance Prime
RATED BY ISS ESG

EURONEXT vigeo eiris INDICES WORLD 120

FTSE Blossom Japan

MORNINGSTAR GenDi J
Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
TOP CONSTITUENT 2024

S&P/JPX カーボンエフィシェント指数

補足資料

- ヘマトロジー分野について
- 血液凝固分野について
- 各分野の検査フローとTLAの概要

ヘマトロジー分野に関して

ヘマトロジー分野の主な測定項目

CBC8項目

末梢血液一般検査
（血球計算における基本的項目）



赤血球

赤血球系項目
- ヘモグロビン
- ヘマトクリット
- MCV
- MCH
- MCHC



白血球



血小板

白血球3分類

白血球を大きさ別に3分類



小型白血球
（リンパ球）

中型白血球
（単球、好酸球、好塩基球）

大型白血球
（好中球）

白血球5分類

Diff：5種類の細胞分類



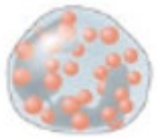
好塩基球



リンパ球



単球



好酸球



好中球

特殊項目



NRBC
（有核赤血球）



RET
（網赤血球）

RET-He
（網赤血球ヘモグロビン等量）



IG
（幼弱顆粒球）



IPF
（幼弱血小板比率）

HPC
（造血前駆細胞）

ヘマトロジー分野で提供する価値

シスメックスのヘマトロジー分野の提供価値	医療機関へのソリューション
施設環境に合わせて上位からか下位機種まで高品質でデータ互換性のある製品を提供	十分なスペースのない検査室でも高機能機器の設置が可能
検査業務のフルオートメーション化	・医療従事者不足への対応 ・知識・経験に左右されない高い検査品質の確保 ・検査室における生産性向上
グローバルで圧倒的な存在感を示す2分野融合（ヘマトロジー＋血液凝固）の独自システムを提供	・新たな検査フローの提供による、さらなる効率化の実現 ・低予算でTLA*1導入が可能
圧倒的なシェアを根幹とした世界標準の実現	環境に捉われることなく世界中の人びとへ良質な医療を提供
信頼性の高い基礎項目の検査結果と臨床価値の高いユニーク項目や診療支援情報の提供	疾患に応じたタイムリーな診断・モニタリングに貢献
ネットワークサービスを活用したサービス＆サポート	24時間365日安心して検査を実施できる環境の提供

*1Total Laboratory Automation。複数の分析装置を検体搬送装置で接続したシステム商品
※上表はすべての施設に該当はいたしません。

ヘマトロジーを通じ、医療機関の課題解決に貢献

血液凝固分野について

全自動血液凝固測定装置　CNシリーズ

青字：継承　緑字：進化

高い処理能力、省スペース化

CLSIに準拠した
データ保証体制の確立

Caresphere™による
ネットワークサービス



凝固検体の検査ワークフローの
一元化

クロスミキシング、血小板凝集能、
CLEIA法測定項目による
診療貢献の可能性

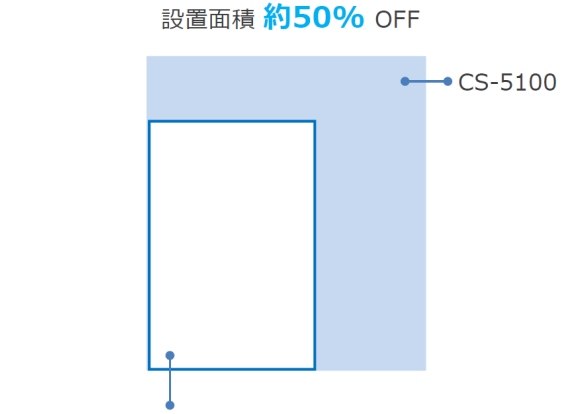
キャップピアシング等による
安心、安全な運用

CNシリーズの進化ポイント 1

省エネ、省スペース化の実現と免疫モジュールの搭載により競争優位性を獲得

- **高処理能力・省スペース・省電力化**
  - ✓ 最大処理能力の向上
  - ✓ フットプリントの削減による省スペース化（約50%削減）
  - ✓ 省電力化





最大450テスト/時間

100V電源対応

- **一体型による検査ポートフォリオの拡充**
  - ✓ 免疫モジュールの搭載と特徴ある試薬の保有
    - 凝固分子マーカー（TAT、PICなど）
    - HIT抗体検査　など



全自動血液凝固測定装置
＋免疫モジュール
CN-6500™/CN-3500™

- ✓ 疾患のより高度な状態把握や原因の特定を進めさらなる**治療への貢献**
- ✓ 検査機器の統合による**効率化**

CNシリーズの進化ポイント 2

お客様のオペレーション向上を追求した設計開発

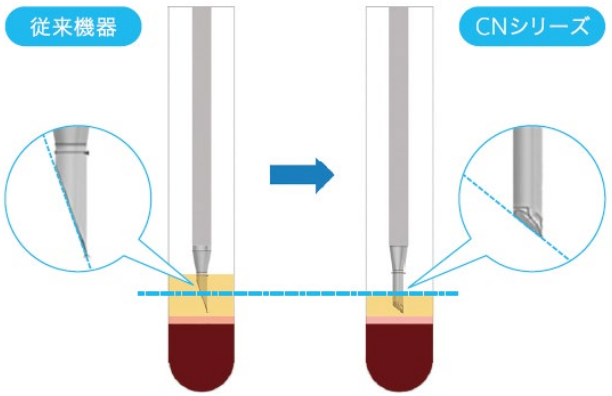
● さらなる分析性能の向上



測定部の光源にLEDを採用

▼

メンテナンスの軽減
コスト削減



ピアサの改良

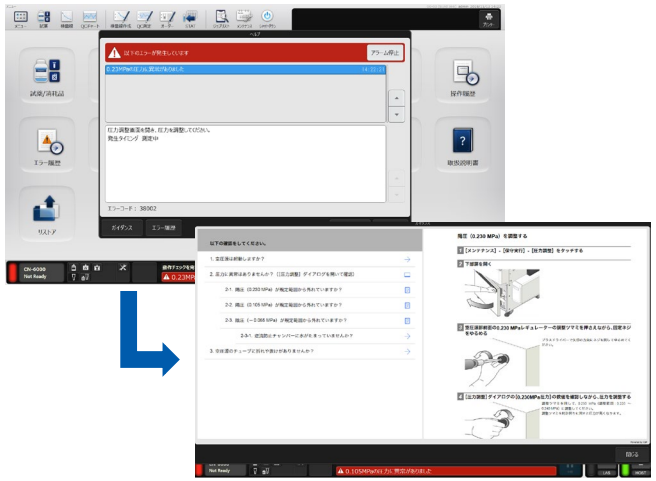
▼

耐久性向上
デッドボリューム低減

● ユーザビリティの向上



テスト数予測機能の搭載



エラーガイダンス機能の搭載



自動開閉機能付き試薬ラック*

▼

試薬の蒸発防止

*一部試薬のみ対応

タッチフリーコンセプトの拡大：Blood Science



血液凝固分野　　TS-10　　ヘマトロジー分野

検査工数削減の新設計

- ✓ ヘマトロジーと凝固検体の**セット場所を1か所へ**
- ✓ TS-10による**検体自動振り分け・収納を完全自動化**
- ✓ **検査技師1名**で両分野の検査マネジメントを実現
- ✓ 装置の小型化技術による**フットプリントの縮小**

社会課題解決

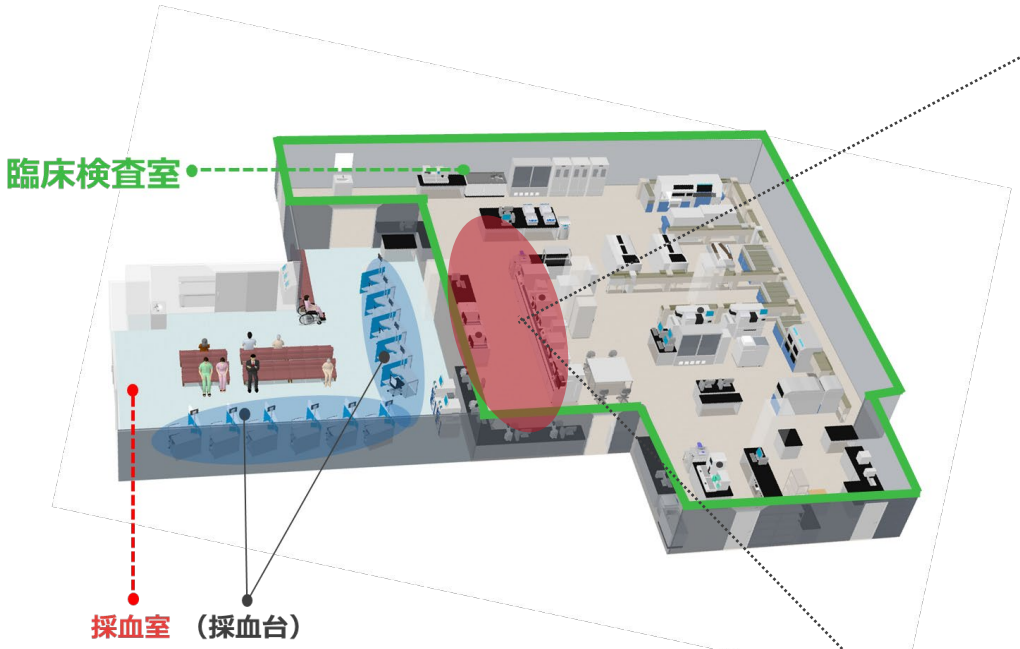
- ✓ **人材・スキル不足**の解消
- ✓ **遠隔地や新興国**の医療品質向上・医療格差の是正

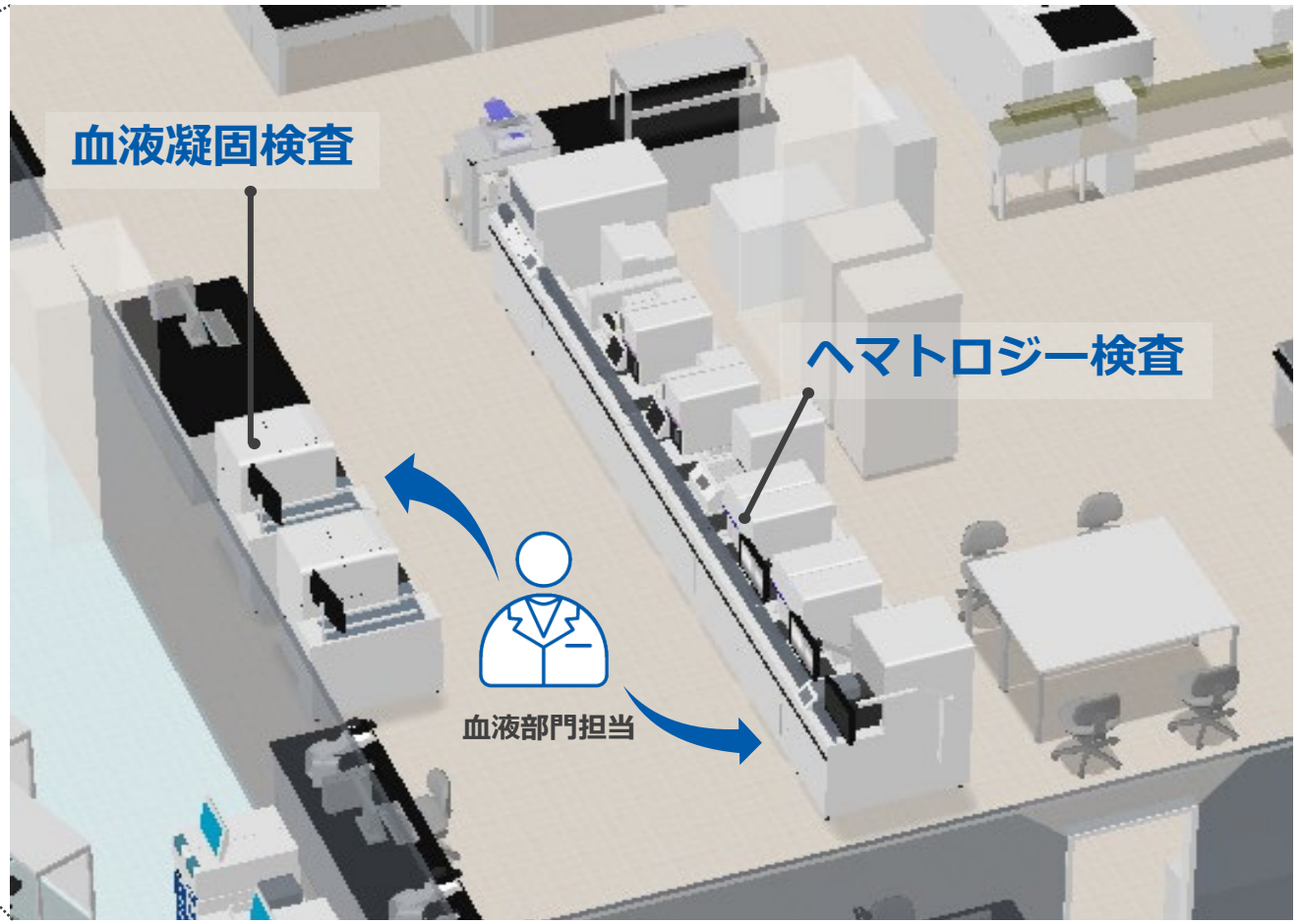
各分野の検査フローとTLA概要

- 一般的な情報について説明した資料であり、医学的なアドバイスを行うものではありません。
- 一部平易な表現で記載しています。

検査分野別検体の種類と担当部門

ヘマトロジーと血液凝固検査を共通で担当するケースが多い





検体搬送システム（TLA：Total Laboratory Automation）

● 特徴とメリット

✓ **複数の分析装置を検体搬送装置で接続**したシステム商品。検査情報システムとの連携で、**検査業務の効率化**を図る

※検査工程：検体到着確認→（検体仕分け）→（遠心）→（開栓）→分析・測定→検体保管を**完全自動化**

✓ 免疫装置と生化学装置との接続が主流。**血液凝固装置、ヘマトロジー装置との接続も増加傾向**

✓ システム全てで1つの製品（１メーカー）ではなく、**分析装置と搬送システムとの組み合わせは自由**

● デメリット

✓ 準備・構築段階から期間を要し、検査装置より長納期

✓ 大型検体搬送システムの場合、**相応の設置・業務スペースを要する**

✓ 搬送ライン・搬送関連製品にトラブルが発生した場合、**測定・分析以外の検査工程が手作業の対応となり、TATが大幅に延長するリスクあり**

✓ システム通信の不具合など、**原因によっては復旧時間に時間を要し、ダウンタイムの長期化リスクあり**

タイプ別機器設置イメージ図

TLA



分野別アイランド



2分野融合（ハイブリッド）



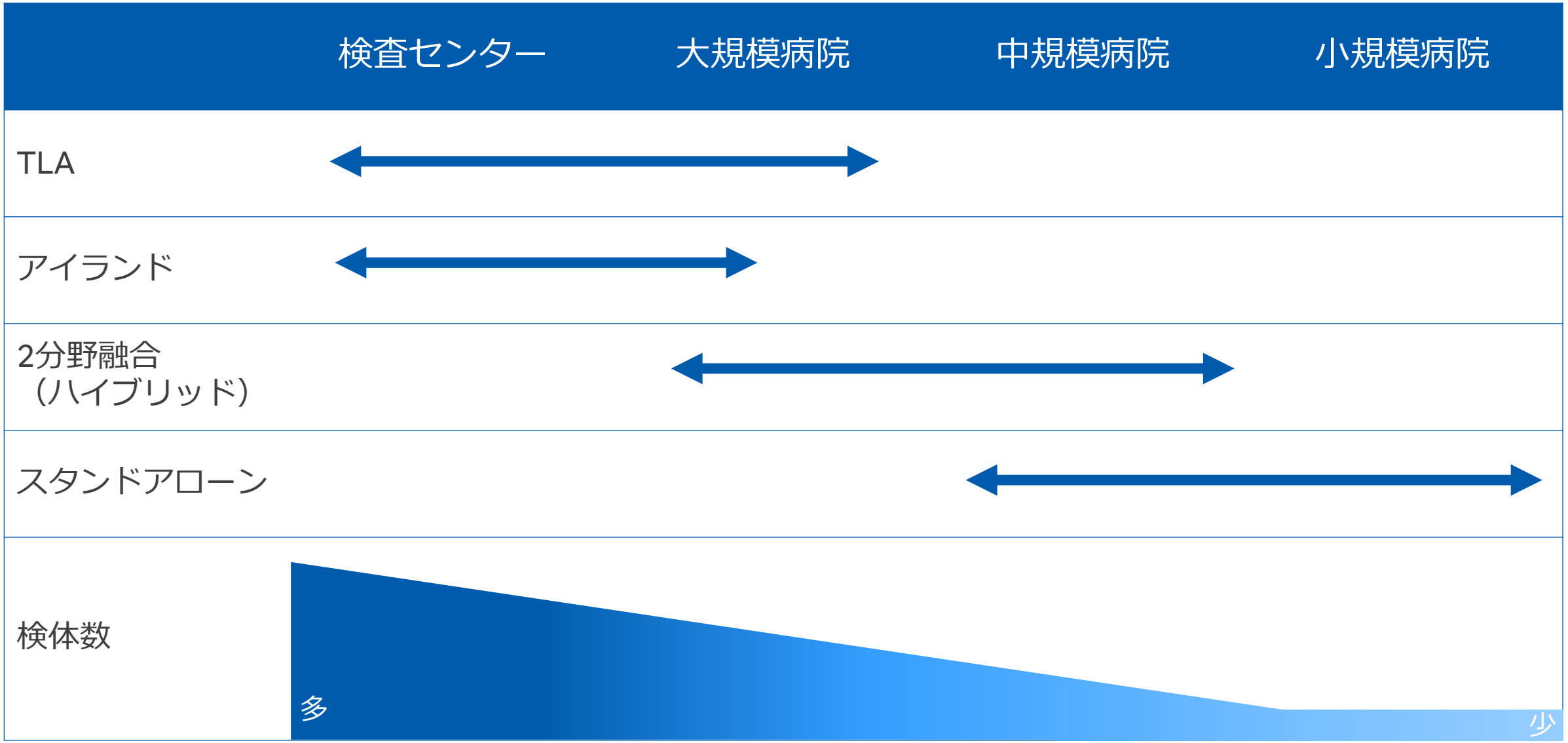
免疫装置
＋
生化学装置

ヘマトロジー
＋
血液凝固

スタンドアローン



検体数と自動化の関係性



施設規模別の検査環境

	大規模検査センター	大規模病院	中規模病院	小規模病院
広い検査室	◎	○	△	X
人員	○	○	△	X
検体数・院内検査項目の豊富度	◎	◎	○	X
生理検査業務の兼務需要	X	X （採血業務あり）	△ （採血業務あり）	◎
TLAの需要	○	○	△	X
1分野あたり複数台複数ライン設置（アイランド）	◎	○	△	X
ヘマトロジーラボ内実施	◎	◎	◎	○ ※完全外注ケースもあり
血液凝固・免疫検査ラボ内実施	◎	◎	◎	△ ※完全外注ケースもあり

※上表は参考例であり、全施設に該当は致しません

◎：豊富（あり）　○：十分　△：やや不足　X：不足（なし）

Together for a better
healthcare journey

シスメックス株式会社
＜お問合せ先＞
シスメックス株式会社
コーポレートコミュニケーション本部　IR部
・電話：078-265-0500
・メールアドレス：pr-ir@sysmex.co.jp
・URL：**www.sysmex.co.jp**

(2508)